

(案)

第2次京丹後市スポーツ推進計画

市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち

<令和5年度改定版>

写 真

令和6年3月

京丹後市教育委員会

目 次

第1章 計画の策定にあたって.....	1
1. 計画見直しの趣旨.....	1
2. 計画の位置づけ.....	1
3. 計画の期間.....	2
4. 計画の背景.....	2
第2章 現状と課題.....	3
1. 人口・世帯の状況.....	3
2. 小中学生の運動、スポーツの状況.....	4
3. 公共スポーツ施設利用状況.....	13
4. スポーツに関する市民意識調査結果（抜粋）.....	17
5. 第2次スポーツ推進計画（前期）の評価と課題.....	21
第3章 基本的な考え方.....	24
1. 基本理念.....	24
2. 計画の目標.....	24
3. 基本方針と基本施策、施策体系.....	25
4. 施策体系.....	26
5. 具体的な取組.....	27
第4章 計画の推進に向けて.....	36
計画の進捗管理.....	36
資料編.....	38
平成26年度スポーツ政策調査研究調査報告書抜粋.....	39
京丹後市スポーツ推進まちづくり推進本部設置規程.....	40
京丹後市スポーツ推進審議会条例.....	42
京丹後市スポーツ推進審議会委員名簿.....	43
検討経緯.....	43
第2次京丹後市スポーツ推進計画 前期（H30～R4 年度）実施概要.....	44
スポーツに関する市民意識調査結果.....	54
用語解説.....	75

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画見直しの趣旨

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすものであり、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えられており、スポーツ基本法[※]では「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」とであるとされています。

スポーツには、競技としてルールに則り他者と競い合い自らの限界に挑戦するものや、健康維持や仲間との交流など多様な目的で行うものがあり、すべての人が積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、それぞれの人生を生き生きとしたものとするのが期待されています。

こうした状況を踏まえ、国においては、平成27年10月にスポーツ庁を発足させ、平成29年3月に「第2期スポーツ基本計画[※]」を策定、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画[※]」を策定しました。第3期計画では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）のスポーツ・レガシーの発展に向けて、特に重点的に取り組むべき施策を示するとともに、「新たな3つの視点」である、①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる、③スポーツに「誰もがアクセス」できる、と支える具体的な施策を示し、取り組むこととしています。

一方、本市では平成29年度に「第2次京丹後市スポーツ推進計画」（本計画）を策定し、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」の基本理念のもと、4つの施策「ライフステージ[※]に応じたスポーツ施策の推進」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」「スポーツ観光[※]のまちづくり」を柱に、関連する取組を進めてきました。

このような中、本計画の策定から5年が経過することから、これまでの施策を評価し、課題を整理するとともに、国の「第3期スポーツ基本計画[※]」、京都府スポーツ推進計画及び京丹後市総合計画を踏まえ、本計画後期に取り組むべき施策等を明らかにするため、中間見直しを行うものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、国の「第3期スポーツ基本計画[※]」とともに、京都府のスポーツ推進計画及び第2次京丹後市総合計画「基本計画」をはじめ、本市の関連計画との整合性を図り策定しています。

また、本市がスポーツ実施率の向上を目指し行った取組[※]を継続・発展させるとともに、年齢、性別を問わないスポーツの推進及び障害者スポーツへの取組[※]、そして、健康増進のためのスポーツとスポーツを活用した観光の推進などスポーツ分野の施策を体系化し、目指す方向や取組[※]の内容を具体的に示します。

3. 計画の期間

本計画の期間は平成30年度から令和9年度までの10年間とします。なお、令和5年度に中間見直しを行いました。

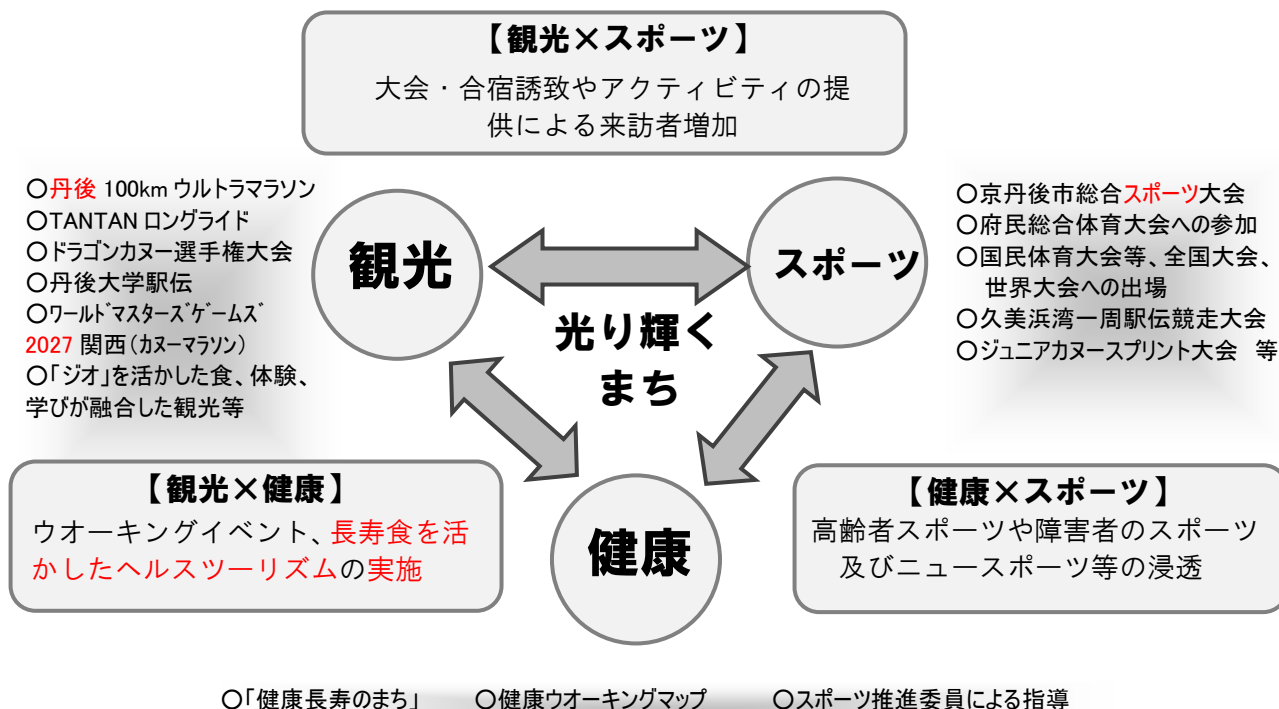
平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
第2次京丹後市スポーツ推進計画				中間見直し		第2次京丹後市スポーツ推進計画			

4. 計画の背景

スポーツは「世界共通の人類の文化」であり、スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核で、全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で光り輝くことにより、前向きで活力ある市民生活へとつながります。

本市では、豊かな自然環境を活かした様々なスポーツが展開されています。また、『京丹後』百寿人生のレシピ』を作成するなど、「健康長寿のまち」としての事業も推進しています。

健康で暮らし続けるためのスポーツ活動、豊かな自然環境を活用したスポーツ観光の充実など、スポーツと健康そして観光が連携を図ることで、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」を実現させるための多面的なスポーツ施策の展開を図ります。



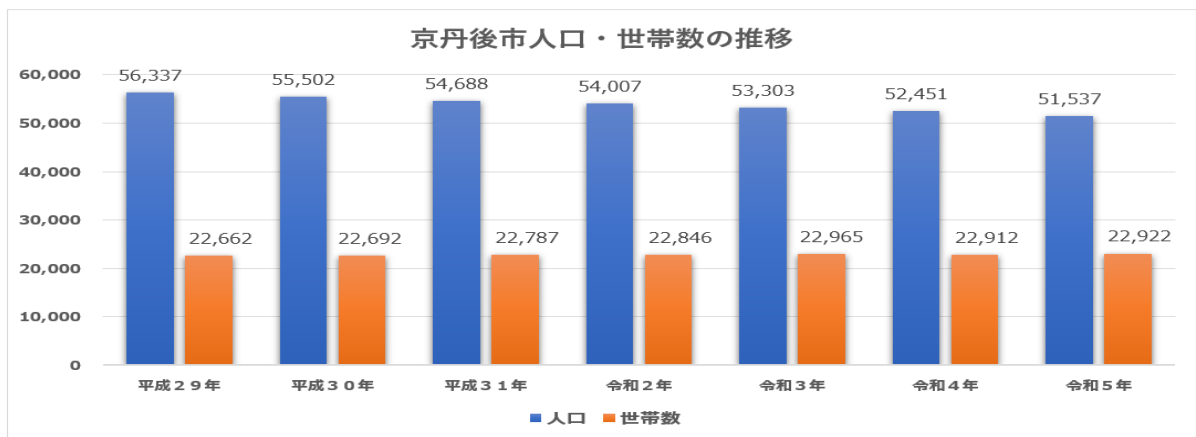
第2章 現状と課題

1. 人口・世帯の状況

(1) 人口・世帯の推移

本市の人口及び世帯数の推移をみると、令和5年3月末の人口は51,537人に減少している一方、世帯数は増加傾向で、22,922世帯となっています。

■人口・世帯の推移

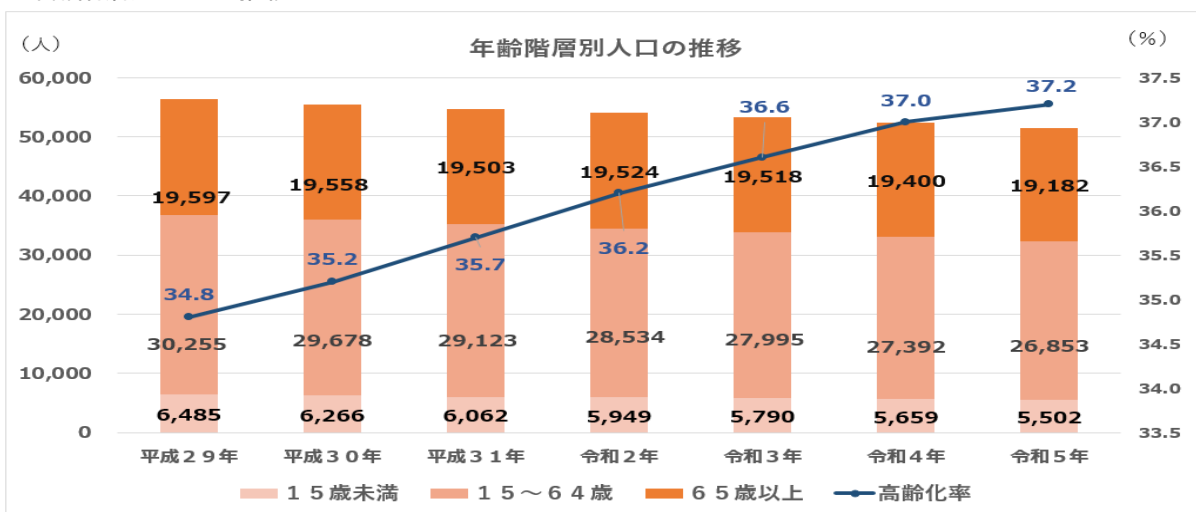


資料:住民基本台帳(各年3月末)

(2) 年齢階層別人口の推移

年齢階層別人口の推移をみると、15歳未満人口と15～64歳人口が減少傾向にある一方で、65歳以上人口は増加しています。高齢化率は、令和5年3月末には37.2%となり、毎年上昇しています。

■年齢階層別人口の推移



資料:住民基本台帳(各年3月末)

2. 小中学生の運動、スポーツの状況

(1) 体力テストの結果

市内の小学校5年生と中学校2年生の体力テストの結果は、全国の結果と比較すると、小学校男子は6/8種目、女子は5/8種目、中学校男子は4/9種目、女子は6/9種目が全国平均以上でした。

■体力テストの結果（京丹後市・全国：小学5年生）

種目	男子 京丹後市	男子 全国【京都府】	差	女子 京丹後市	女子 全国【京都府】	差
	令和4年度	令和4年度		令和4年度	令和4年度	
握力(kg)	16.57	16.21 [15.56]	△0.36	15.56	16.10 [15.42]	▼0.54
上体起こし (回:30 秒間)	18.03	18.86 [18.51]	▼0.83	17.62	17.97 [17.75]	▼0.35
長座体前屈(cm)	31.48	33.79 [31.43]	▼2.31	36.93	38.18 [36.15]	▼1.25
反復横跳び (回:20 秒間)	41.89	40.36 [38.47]	△1.53	40.59	38.66 [36.85]	△1.93
20mシャトルラン (回)	51.02	45.92 [46.33]	△5.1	44.42	36.97 [36.97]	△7.45
50m走(秒)	9.42	9.53 [9.41]	△0.11	9.55	9.70 [9.64]	△0.15
立ち幅跳び(cm)	152.57	150.83 [149.29]	△1.74	146.18	144.55 [141.72]	△1.63
ソフトボール投げ(m)	22.56	20.31 [20.56]	△2.25	14.69	13.17 [13.39]	△1.52

資料：体力・運動能力調査

☆参考（平成28年度 小学5年生）

種目	男子 【京丹後市】	男子 【全国】	差	女子 【京丹後市】	女子 【全国】	差
	平成 28 年度	平成 28 年度		平成 28 年度	平成 28 年度	
握力(kg)	16.0	16.4	▼0.4	15.9	16.1	▼0.2
上体起こし (回:30 秒間)	19.4	19.6	▼0.2	17.9	18.6	▼0.7
長座体前屈(cm)	31.6	32.8	▼1.2	34.5	37.2	▼2.7
反復横跳び (回:20 秒間)	42.6	41.9	△0.7	40.9	40.0	△0.9
20mシャトルラン (回)	56.6	51.8	△4.8	47.8	41.2	△6.6
50m走(秒)	9.3	9.3	0	9.6	9.6	0
立ち幅跳び(cm)	153.9	151.3	△2.6	148.2	145.3	△2.9
ソフトボール投げ(m)	23.2	22.4	△0.8	15.0	13.8	△1.2

■体力テストの結果（京丹後市・全国：中学２年生）

種目	男子 京丹後市	男子 全国 [京都府]	差	女子 京丹後市	女子 全国 [京都府]	差
	令和4年度	令和4年度		令和4年度	令和4年度	
握力(kg)	29.06	28.99 [28.07]	△0.07	22.87	23.21 [22.75]	▼0.34
上体起こし (回:30 秒間)	25.24	25.74 [25.61]	▼0.5	21.89	21.67 [21.74]	△0.22
長座体前屈(cm)	40.00	43.87 [43.26]	▼3.87	44.86	46.07 [44.79]	▼1.21
反復横跳び (回:20 秒間)	52.97	51.05 [51.20]	△1.92	47.60	45.81 [46.04]	△1.79
持久走(秒) 男子 1500m 女子 1000m	397.44	409.81 [409.08]	△12.37	289.38	302.89 [302.18]	△13.51
20mシャトルラン (回)	78.44	78.07 [80.58]	△0.37	56.44	51.60 [54.11]	△4.84
50m走(秒)	8.12	8.06 [8.00]	▼0.06	8.88	8.96 [8.89]	△0.08
立ち幅跳び(cm)	195.30	196.89 [195.82]	▼1.59	168.32	167.04 [165.71]	△1.28
ハンドボール投げ(m)	19.21	20.28 [19.43]	▼1.07	12.20	12.45 [12.28]	▼0.25

※「△」は京丹後市が全国を上回り、「▼」は京丹後市が全国を下回っていることを表します。

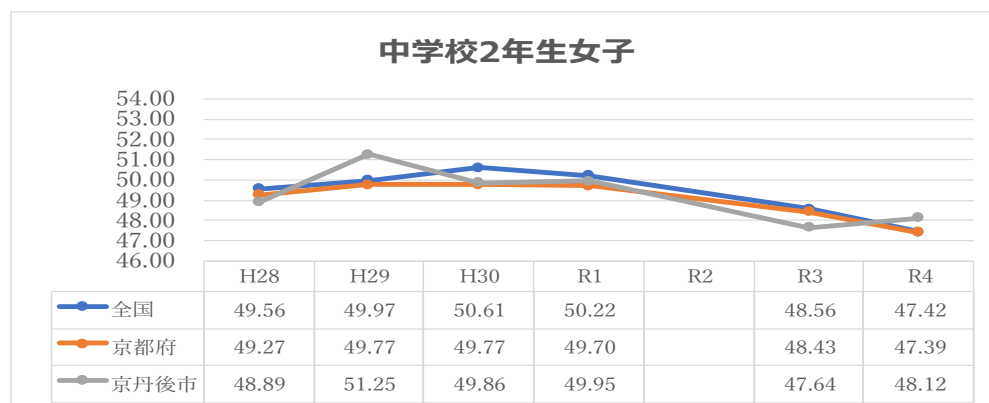
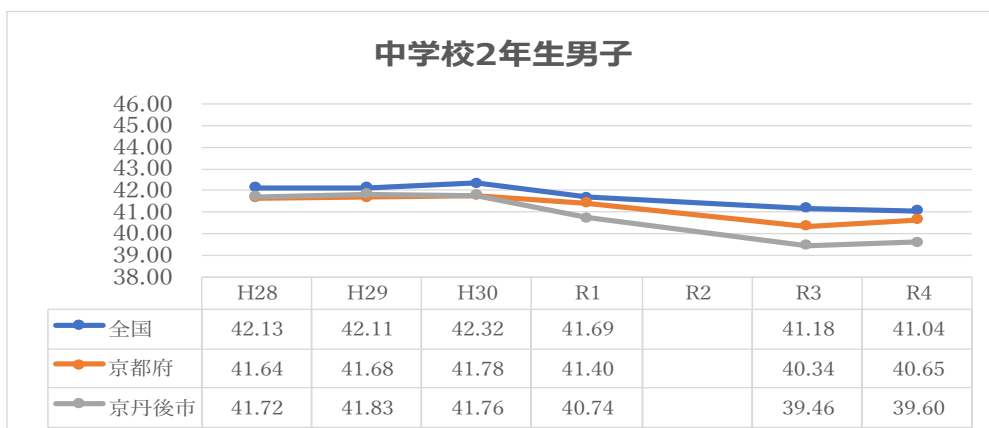
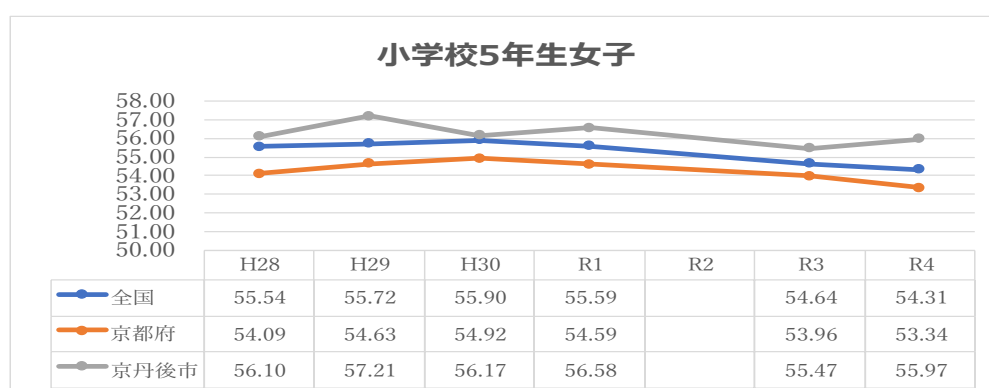
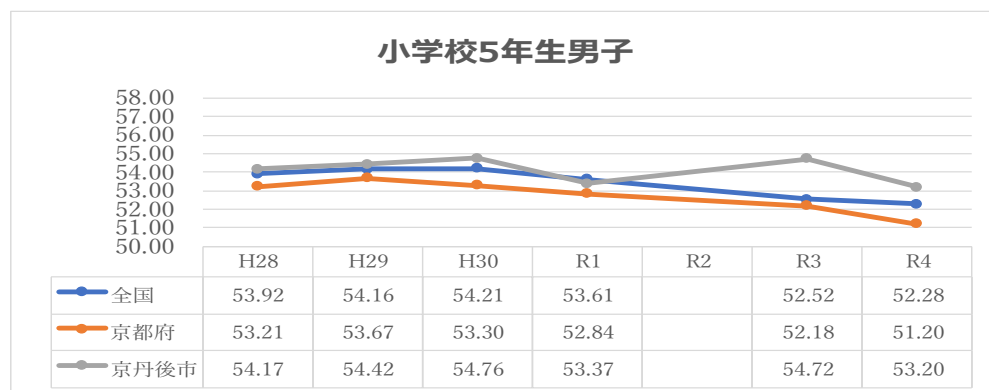
資料：体力・運動能力調査

☆参考(平成28年度 中学2年生)

種目	男子 【京丹後市】	男子 【全国】	差	女子 【京丹後市】	女子 【全国】	差
	平成 28 年度	平成 28 年度		平成 28 年度	平成 28 年度	
握力(kg)	27.5	28.9	▼1.4	22.6	23.7	▼1.1
上体起こし (回:30 秒間)	28.0	27.4	△0.6	23.1	23.4	▼0.3
長座体前屈(cm)	39.7	43.0	▼3.3	42.7	45.4	▼2.7
反復横跳び (回:20 秒間)	52.9	51.9	△1.0	46.6	46.6	0
持久走(秒) 男子 1500m 女子 1000m	378.9	391.7	△12.8	278.7	288.5	△9.8
50m走(秒)	7.8	8.0	△0.2	8.6	8.8	△0.2
立ち幅跳び(cm)	194.0	194.6	▼0.6	170.3	168.2	△2.1
ハンドボール投げ(m)	19.1	20.5	▼1.4	12.3	12.8	▼0.5

■児童生徒の体力合計点の状況（全国・京都府・京丹後市）※令和2年はコロナによりテスト中止

（単位：点）



(2) 中学校運動部活動状況

市内の中学校運動部活動の生徒在籍状況では、少子化の進行に伴い、学校によっては競技種目が限られています。

■生徒在籍状況（令和5年5月現在）

単位：人

		軟式 野球	ソフト ボール	バレー ボール	バスケット ボール	ソフト テニス	卓球	陸上 競技	サッカ ー	体操 競技	カヌ ー	※そ の他	計
峰山 中学校	男子1年	6	－	－	8	4	14	2	7	1	－	0	42
	男子2年	7	－	－	7	6	5	5	6	3	－	0	39
	男子3年	7	－	－	9	13	8	3	8	2	－	1	51
	計	20	－	－	24	23	27	10	21	6	－	1	132
	女子1年	－	1	4	4	5	3	1	－	3	－	－	21
	女子2年	－	4	5	14	8	4	3	－	2	－	－	40
	女子3年	－	6	3	6	15	3	1	－	3	－	－	39
	計	－	11	12	24	28	10	7	0	8	－	－	100
大宮 中学校	男子1年	6	－	－	7	3	7	3	5	－	－	－	31
	男子2年	7	－	－	0	16	11	7	1	－	－	－	42
	男子3年	5	－	－	8	11	8	7	4	－	－	－	43
	計	18	－	－	15	30	26	17	10	－	－	－	116
	女子1年	1	1	7	3	12	5	3	－	－	－	－	32
	女子2年	0	12	11	5	0	3	2	－	－	－	－	33
	女子3年	0	8	3	4	12	6	2	－	－	－	－	35
	計	1	21	21	12	22	14	7	－	－	－	－	100
網野 中学校	男子1年	7	－	－	8	6	2	11	2	1	－	8	45
	男子2年	6	－	－	4	8	5	12	0	2	－	0	37
	男子3年	5	－	－	1	14	5	9	11	2	－	7	54
	計	18	－	－	13	28	12	32	13	5	－	15	136
	女子1年	0	－	3	5	6	3	4	0	2	－	1	24
	女子2年	0	－	3	1	9	7	4	0	3	－	0	27
	女子3年	1	－	4	3	9	1	9	1	9	－	0	34
	計	1	－	10	9	24	11	17	1	11	－	1	84
丹後 中学校	男子1年	－	－	－	5	－	2	5	－	－	－	－	12
	男子2年	－	－	－	10	－	4	11	－	－	－	－	26
	男子3年	－	－	－	7	－	4	4	－	－	－	－	15
	計	－	－	－	23	－	10	20	－	－	－	－	53
	女子1年	－	6	4	－	－	0	3	－	－	－	－	13
	女子2年	－	7	3	－	－	2	4	－	－	－	－	16
	女子3年	－	4	7	－	－	3	6	－	－	－	－	20
	計	－	17	14	－	－	5	13	－	－	－	－	49

単位：人

		軟式 野球	ソフト ボール	バレー ボール	バスケット ボール	ソフト テニス	卓球	陸上 競技	サッカ ー	体操 競技	カヌ ー	※そ の他	計
弥栄中学校	男子1年	2	－	－	－	2	－	2	－	－	－	－	12
	男子2年	4	－	－	－	4	－	4	－	－	－	－	13
	男子3年	6	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	11
	計	12	－	－	－	7	－	7	－	－	－	－	36
	女子1年	0	－	1	－	7	－	1	－	－	－	－	9
	女子2年	0	－	5	－	4	－	4	－	－	－	－	13
	女子3年	1	－	3	－	4	－	5	－	－	－	－	13
	計	1	－	9	－	15	－	10	－	－	－	－	34
久美浜中学校	男子1年	7	－	－	9	7	－	5	－	－	0	－	28
	男子2年	5	－	－	9	6	－	5	－	－	5	－	30
	男子3年	9	－	－	3	10	－	5	－	－	9	－	36
	計	21	－	－	21	23	－	15	－	－	14	－	94
	女子1年	－	－	5	3	9	－	2	－	－	1	－	20
	女子2年	－	－	6	3	6	－	4	－	－	6	－	25
	女子3年	－	－	8	1	4	－	5	－	－	2	－	24
	計	－	－	19	7	23	－	11	－	－	9	－	69
合計		91	49	85	148	235	117	164	45	30	23	17	1,004

※その他：社会体育サッカー(13)、社会体育レスリング(3)、その他(1)

資料：京丹後市教育委員会

■平成29年5月と令和5年5月との比較

単位：人

	軟式 野球	ソフト ボール	バレー ボール	バスケット ボール	ソフト テニス	卓球	陸上 競技	サッカ ー	体操 競技	カヌ ー	※そ の他	計
平成29年	134	56	100	198	304	118	210	61	44	20	—	1,245
令和5年	91	49	85	148	235	117	164	45	30	23	17	1,004

(3) スポーツ競技の状況

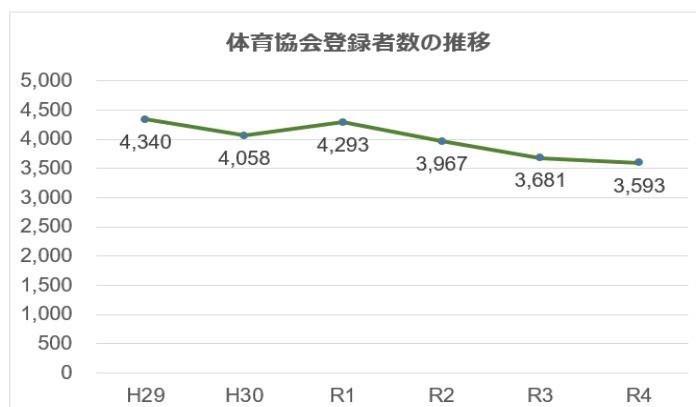
京丹後市体育協会（現：京丹後市スポーツ協会）に登録しているスポーツ競技者の状況では、全体の登録数が平成29年度と令和4年度を比べると17.2%減少しています。

■京丹後市体育協会（登録者数）

単位：人

種 目	H29	H30	R1	R2	R3	R4
陸上	299	320	350	362	361	356
軟式野球	538	494	489	496	449	440
卓球	94	99	108	100	89	94
バレーボール	264	244	338	304	229	280
ソフトボール	684	611	591	471	471	390
ソフトテニス	120	117	122	125	126	132
柔道	13	12	10	10	9	9
剣道	56	50	67	59	56	57
ゲートボール	295	274	249	231	212	197
バドミントン	71	79	90	71	69	58
サッカー	145	140	131	129	150	150
テニス	49	28	54	42	43	58
グラウンド・ゴルフ	749	708	693	640	598	534
バスケットボール	108	126	156	124	121	133
ゴルフ	397	390	388	401	366	418
ボウリング	78	78	85	68	70	74
ソフトバレーボール	164	127	207	180	107	55
空手	19	27	27	30	30	30
スキー	109	44	48	34	34	35
アーチェリー	0	0	0	0	0	0
カヌー	77	77	77	77	78	77
弓道	11	13	13	13	13	16
合計	4,340	4,058	4,293	3,967	3,681	3,593

資料：京丹後市体育協会



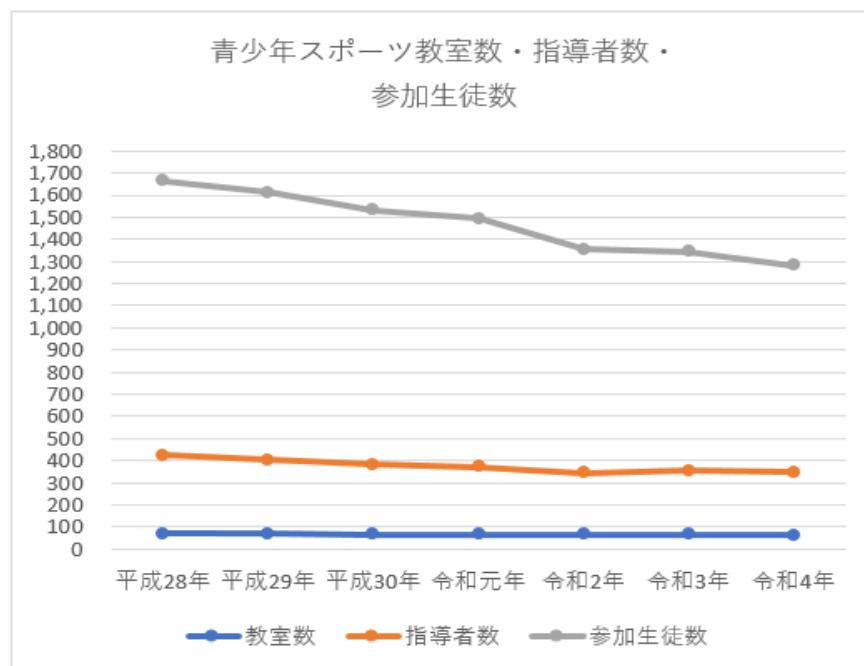
令和2年度、これまでのスポーツ少年団^{*}の体制を見直し、京丹後市青少年スポーツ協会を設立しました。教室数は微減、参加児童生徒数については減少しています。

■ 青少年スポーツ協会（教室数、指導者数、参加生徒数）

単位：教室・人

種目	平成29年			平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	教室数	指導者数	参加生徒数	教室数	指導者数	参加生徒数	教室数	指導者数	参加生徒数	教室数	指導者数	参加生徒数	教室数	指導者数	参加生徒数	教室数	指導者数	参加生徒数
軟式野球	12	81	237	9	64	204	9	68	221	9	55	200	9	61	200	9	61	204
硬式野球	1	6	20	1	6	25	1	8	25	1	7	14	1	8	10	1	7	15
サッカー	8	52	307	8	50	270	7	40	237	6	33	185	6	39	174	6	41	193
バスケットボール	5	26	181	5	25	181	5	26	192	6	27	181	6	26	194	6	25	181
バレーボール	10	46	232	11	45	167	11	47	181	11	41	179	10	40	180	9	39	152
テニス	2	5	20	2	6	36	2	4	36	2	6	33	2	5	33	2	6	33
ソフトテニス	2	24	8	2	24	65	2	22	58	2	20	46	2	20	43	2	20	36
バドミントン	2	11	34	2	11	25	3	11	39	3	12	44	3	17	41	3	15	29
卓球	1	3	27	1	3	36	1	3	30	1	3	23	1	3	21	1	3	19
陸上	7	46	257	7	47	236	7	46	203	7	44	189	7	40	182	7	37	166
体操	1	12	32	1	12	33	1	12	30	1	12	20	1	9	16	1	9	14
新体操	1	7	11	1	6	16	1	7	21	1	9	27	1	9	34	1	9	30
剣道	4	25	73	4	23	62	4	23	58	4	24	62	4	23	69	4	22	71
柔道	1	6	21	1	5	26	1	4	19	1	4	19	1	5	20	1	5	14
空手	6	24	85	6	24	79	6	22	71	6	20	63	6	20	71	6	19	72
レスリング	2	14	32	2	9	22	1	8	26	1	8	25	1	8	20	1	8	19
少林寺拳法	1	2	1	1	3	2	1	3	4	1	3	8	1	3	10	1	6	14
カヌー	1	14	23	1	14	28	1	13	21	1	12	18	1	13	10	1	13	11
スキー	1	1	11	1	1	8	1	2	10	1	2	7	1	1	6	1	1	3
複合				1	3	13	1	3	11	1	3	12	1	3	11	1	3	6
合計	68	405	1,612	67	381	1,534	66	372	1,493	66	345	1,355	65	353	1,345	64	349	1,282

資料：京丹後市教育委員会

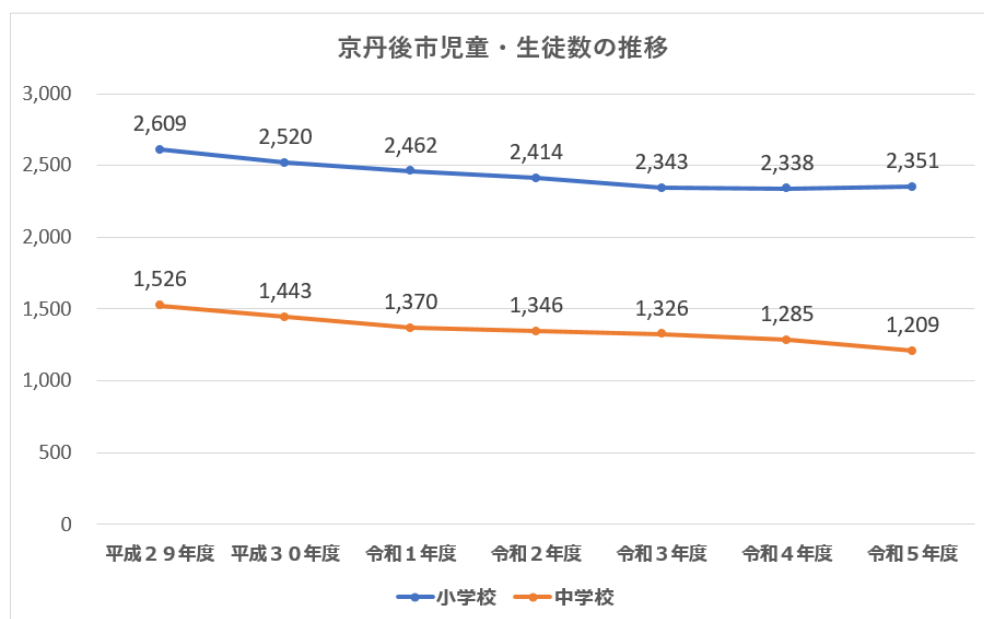


■京丹後市における児童・生徒数の推移（各年度5月1日現在）

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	2,609	2,520	2,462	2,414	2,343	2,338	2,351
中学校	1,526	1,443	1,370	1,346	1,326	1,285	1,209
合計	4,135	3,963	3,832	3,760	3,669	3,623	3,560

資料：京丹後市教育委員会



（４）ニュースポーツ等の状況

京丹後市スポーツ推進委員[※]の中心的活動であるニュースポーツ[※]の推進について、令和2年度、3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、教室が開くことができない状況がありました。令和4年度では、感染予防策を講じながら、活動を再開したこともあり、実施回数及び参加人数が増加しましたが、コロナ前の数値には、まだ戻っていません。

■ニュースポーツ[※]の活動状況

■ニュースポーツの活動状況

（単位：人）

種 目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
ノルディック・ウォーキング	51	806	34	326	28	359	13	389	7	125	18	236
ニュースポーツ	81	1,554	85	1,191	75	1,263	38	559	27	221	51	585
合計	132	2,360	119	1,517	103	1,622	51	948	34	346	69	821

資料：京丹後市教育委員会

(5) スポーツ観光事業の活動状況

令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの事業を中止したことにより、スポーツイベント参加者数は激減しました。

■スポーツ観光事業に係る活動状況

単位：人

種 目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
丹後 100km ウルトラマソン (100km)	中止	2,080	2,169	中止	中止	1,569
丹後 100km ウルトラマソン (60km)	中止	1,035	1,171	中止	中止	620
ドラゴンカー選手権大会	1,200	1,092	1,008	中止	中止	540
丹後大学駅伝大会 (関西学生対校駅伝大会)	440	440	440	150	440	440
久美浜湾一周駅伝競走大会	540	444	384	中止	中止	192
SUP 大会	－	－	69	122	71	80
カヌーマラソン大会	－	－	－	89	中止	97
全国高等学校カヌー長距離選手権大会	－	88	中止	－	129	－
TANTAN ロングライド	1,583	1,745	1,784	中止	中止	中止
あみの八丁浜ロードレース大会	－	－	500	中止	中止	中止
その他 サッカー大会等	3,111	2,472	6,136	997	2,047	4,476
合計	6,874	9,396	13,661	1,358	2,687	8,014

資料：京丹後市教育委員会

■合宿誘致に係る社会体育施設の利用状況

単位：人

種 目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
合宿に伴う社会体育施設の利用人数	1,883	1,316	565	110	93	408

資料：京丹後市教育委員会

3. 公共スポーツ施設利用状況

平成29年度か令和4年度にかけて公共スポーツ施設は減少しており、利用人数は、平成29年度と比べると9%減少していますが、利用回数は、約30%増加しています。

■公共スポーツ施設利用状況

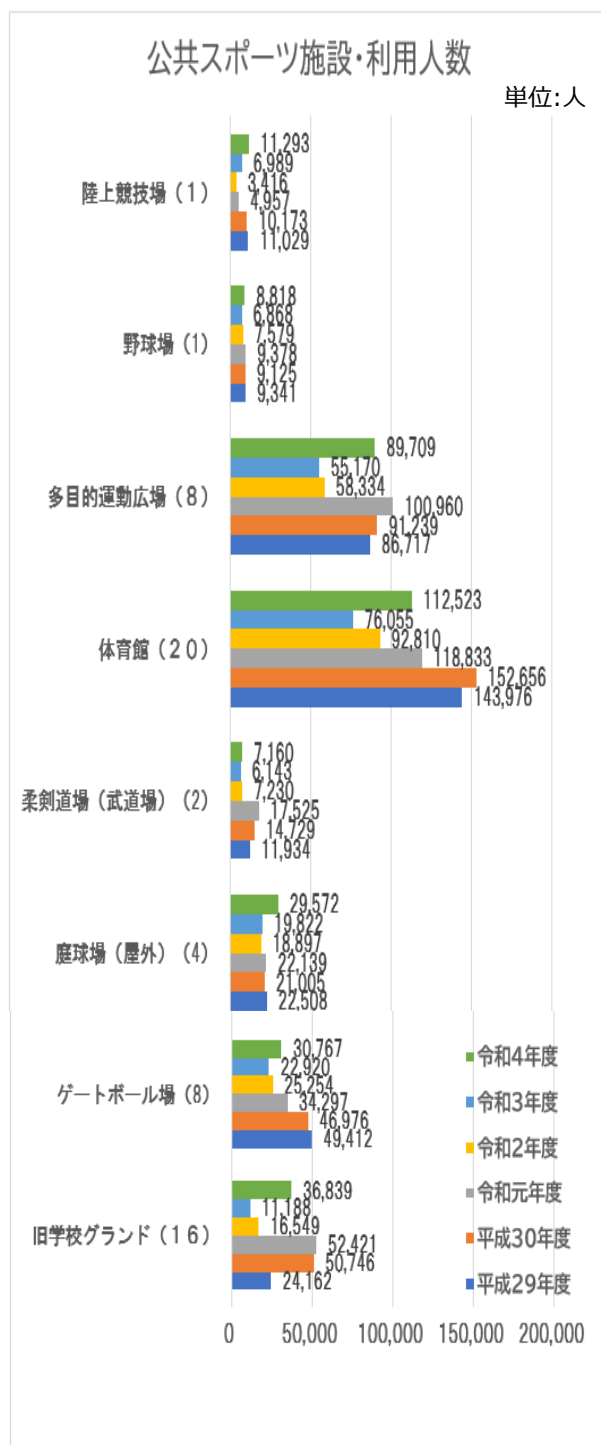
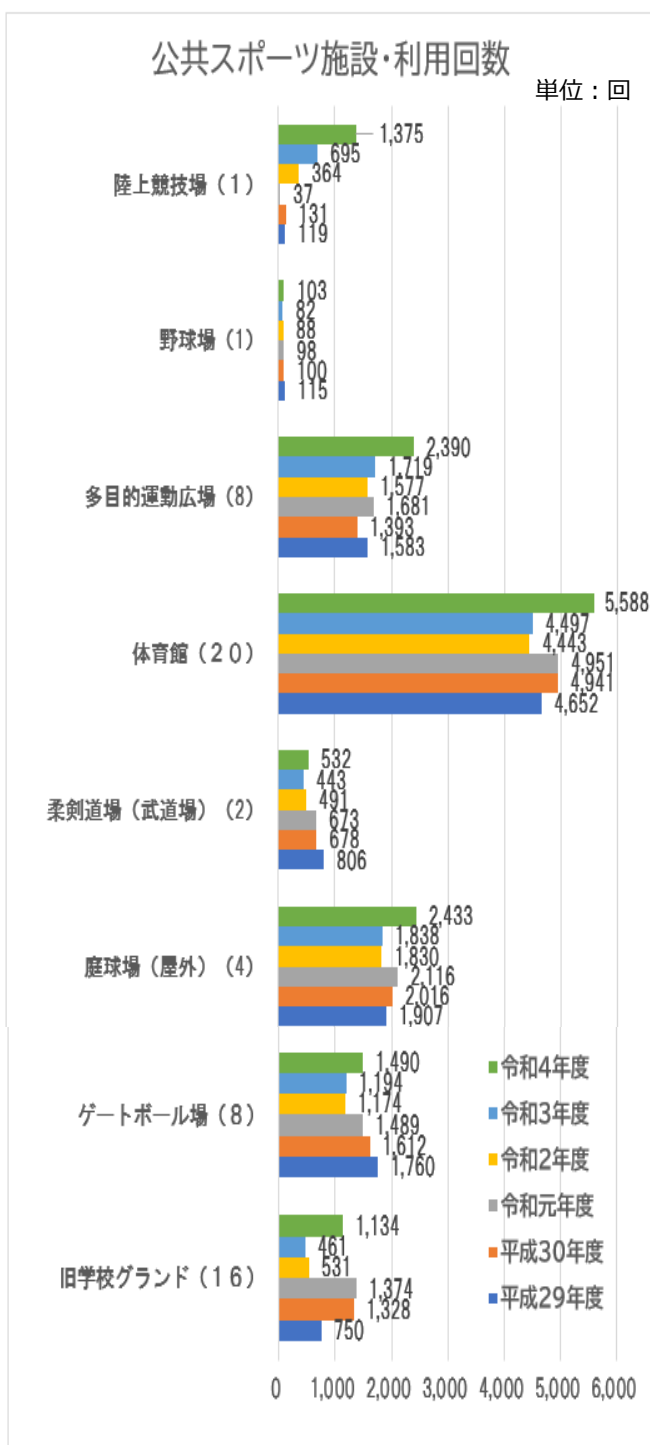
単位:回・人

公共施設	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
京丹後はごろも陸上競技場	119	11,029	131	10,173	37	4,957	364	3,416	695	6,989	1,375	11,293
峰山途中ヶ丘公園グラウンドゴルフコース	281	14,062	267	12,161	262	12,039	237	9,039	202	7,504	312	11,926
京丹後夢球場	115	9,341	100	9,125	98	9,378	88	7,579	82	6,868	103	8,818
峰山総合公園サブグラウンド	57	3,580	53	3,120	58	3,350	29	1,720	75	4,118	74	4,050
峰山総合公園テニスコート	1,124	12,212	1,204	11,195	1,311	12,496	967	7,988	1,016	10,062	1,278	12,617
五箇体育館	218	3,819	276	5,043	261	4,558	149	2,381	181	2,398	296	3,725
五箇グラウンド	153	3,275	283	8,126	463	10,238	177	2,687	121	1,940	392	6,861
紅葉ヶ丘運動場	32	182	5	48	367	6,794	277	5,495	310	3,637	385	6,565
吉原グラウンド	20	1,160	15	650								
いさなごコート	442	7,163	386	6,773	307	6,240	192	4,648	262	4,183	326	4,926
大宮社会体育館	943	27,600	976	25,939	919	25,645	863	18,783	789	15,535	848	20,596
大宮第三体育館	249	5,812	278	5,191	272	4,521	287	3,141	383	3,384	477	4,116
大宮自然運動公園グラウンド	260	8,720	309	12,259	306	10,363	227	6,462	183	4,022	406	11,570
大宮自然運動公園テニスコート	180	2,340	174	1,766	162	1,743	191	2,363	212	2,639	328	3,734
京丹後うらしまフィールド(八丁浜シーサイドパーク)	63	14,650	89	26,882	79	38,915	43	1,327	46	2,835	107	15,545
網野体育センター(体育室)	534	16,284	351	16,905	366	18,151	598	14,108	350	7,870	439	13,885
網野体育センター(剣道室)	350	4,231	338	3,688	350	6,425	242	2,667	220	2,306	259	2,610
網野体育センター(柔道室)	456	7,703	340	11,041	323	11,100	249	4,563	223	3,837	273	4,550
網野体育センター(テニスコート)	207	2,733	219	2,295	154	1,543	144	1,302	118	1,136	206	4,847
三津体育館	53	755	0	0								
三津グラウンド	40	360	1	50								
郷体育館	289	6,178	195	4,625	190	5,097	139	1,794	257	2,732	260	2,835
郷グラウンド	37	1,093	23	478	42	1,360	13	375	6	167	20	1,140
橘体育館	60	894	76	1,508	72	1,858	50	1,132	17	34		
橘グラウンド	2	325	4	700	31	1,452	2	102	0	0		
網野グラウンド	418	14,850	465	19,750	426	17,619	456	17,547	524	19,265	624	22,460
網野屋内ゲートボール場	82	1,221	61	650	73	730	60	600	66	660	93	930

公共施設	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
丹後社会体育館	470	9,793	460	10,690	468	9,578	319	7,001	314	5,814	343	6,607
豊栄山村広場	247	11,331	0	0	0	0	218	8,480	234	9,670	320	12,200
豊栄山村広場ゲートボール場	0	0	0	0								
竹野体育館	60	1,075	130	1,897	95	1,461	55	1,246	73	1,048	88	1,009
竹野グラウンド	74	2,968	328	16,375	206	9,210	6	370	2	50	17	1,310
宇川体育館	14	416	12	960	2	100	3	600	0	0		
宇川グラウンド	96	2,679	144	4,214								
弥栄総合運動公園(弥栄社会体育館)	948	57,612	771	53,348	669	15,055	594	15,135	714	14,597	732	17,026
弥栄総合運動公園グラウンド	298	22,150	309	15,841	284	14,541	219	10,155	249	8,033	352	11,620
弥栄総合運動公園(ゲートボール場)	523	17,449	471	17,681	438	6,141	337	4,427	316	4,168	339	4,623
弥栄総合運動公園(屋外ゲートボール場)	0	0	0	0								
弥栄総合運動公園(多目的広場)	27	4,160	50	6,525	28	3,660	11	2,750	0	0		
黒部体育館	156	2,604	167	2,932	167	3,500	114	1,491	145	2,057	218	5,095
黒部グラウンド	222	7,140	233	6,748	216	9,130	127	3,335	131	3,805	170	5,106
野間体育館	1	50	0	0	3	220	0	0	0	0		
野間グラウンド	4	730	2	650	3	700	1	30	0	0		
久美浜中央運動公園(グラウンド)	181	7,094	113	6,814	133	5,718	97	4,398	98	3,590	122	5,699
久美浜中央運動公園(テニスコート)	396	5,223	419	5,749	489	6,357	528	7,244	492	5,985	621	8,374
久美浜中央運動公園(ゲートボール場)	432	9,517	427	9,711	409	9,147	348	6,540	348	6,405	420	8,362
久美浜中央運動公園(屋外ゲートボール場)	0	0	0	0								
川上体育館	52	948	125	2,119	81	2,496	107	1,258	150	1,380	253	2,012
川上グラウンド	19	991	42	2,148	87	4,460	17	605	14	369	55	2,364
海部体育館	210	2,825	250	3,507	230	3,172	135	4,748	155	3,048	150	5,840
海部グラウンド	4	600	5	680	8	1,195	7	3,460	7	244	5	3,320
佐濃体育館	222	4,527	234	6,435	261	5,723	198	3,752	184	3,432	305	6,885
佐濃グラウンド	63	1,876	149	7,187	133	6,465	83	2,220	74	1,970	152	5,606
田村体育館	134	1,702	141	2,174	206	2,664	223	2,893	191	2,714	244	3,883
田村グラウンド	8	155	4	71	6	1,014	3	1,200	3	1,150	13	1,415
湊体育館	39	1,082	55	1,539	43	1,493	17	88	5	35	14	87
湊グラウンド	8	810	10	1,026	12	746	1	7	2	2	8	369
丹波体育館 (H30. 4月～)			444	7,844	525	10,663	524	11,875	515	8,656	756	15,259
丹波グラウンド (H30. 4月～)			85	1,643	88	4,236	37	683	63	635	144	3,992
豊栄体育館 (H31. 4月～)					121	2,878	68	1,384	74	1,321	165	3,663
豊栄グラウンド (H31. 4月～)					79	2,215	57	1,475	38	856	158	5,356
久美浜湾カヌーセンター									303	4,729	362	7,043
計	11,692	359,079	12,199	396,649	12,419	360,510	10,498	230,069	11,232	209,884	15,407	333,724

資料：京丹後市教育委員会

☆公共スポーツ施設種類別推移

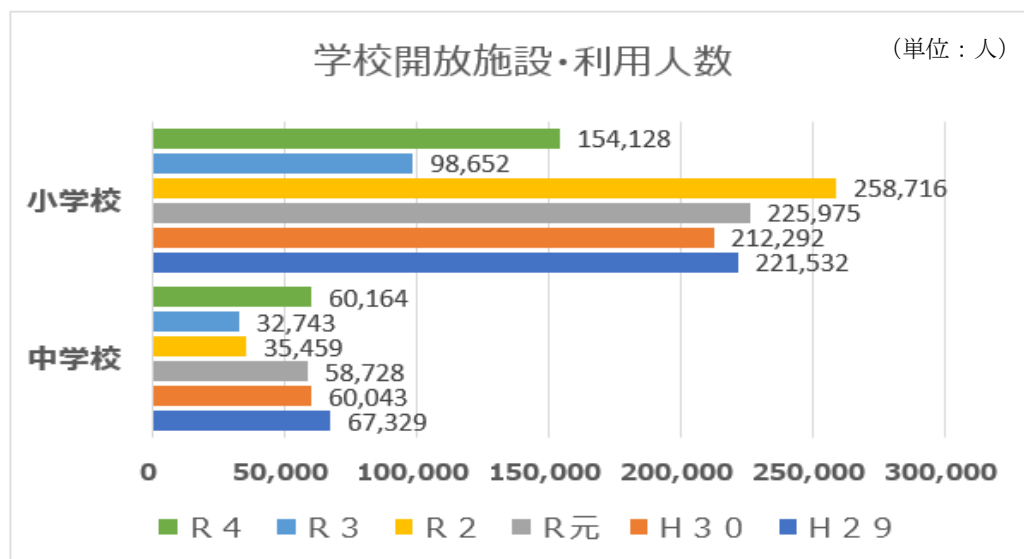
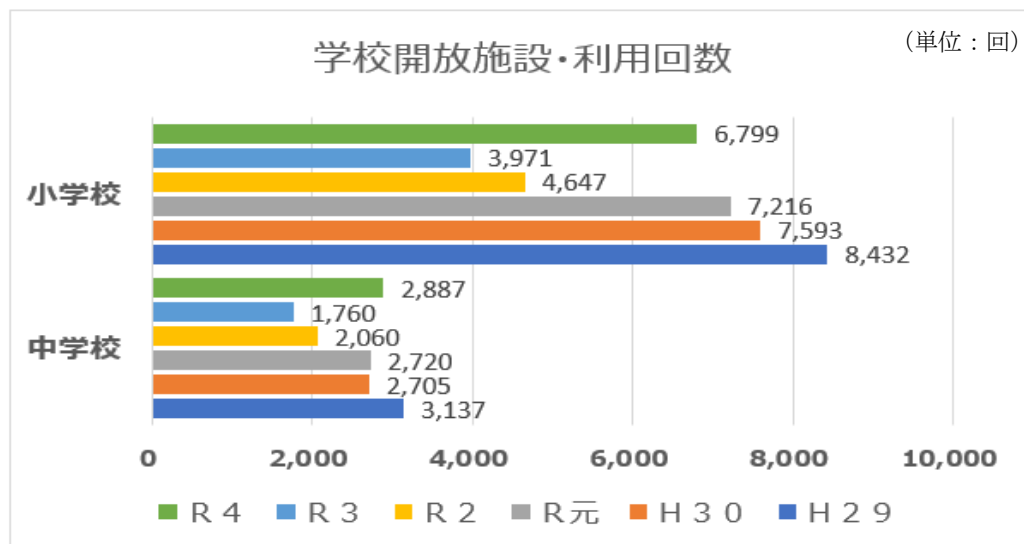


■社会体育用学校開放施設利用状況

単位:回・人

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
小学校	8,432	221,532	7,593	212,292	7,216	225,975	4,647	258,716	3,971	98,652	6,799	154,128
中学校	3,137	67,329	2,705	60,043	2,720	58,728	2,060	35,459	1,760	32,743	2,887	60,164

資料:京丹後市教育委員会



4. スポーツに関する市民意識調査結果（抜粋）

本市における市民のスポーツの活動状況やスポーツに対する意向などを把握することを目的に、18歳以上の市民を対象に行った調査において、市の課題となりうるものに注目して抜粋しています。

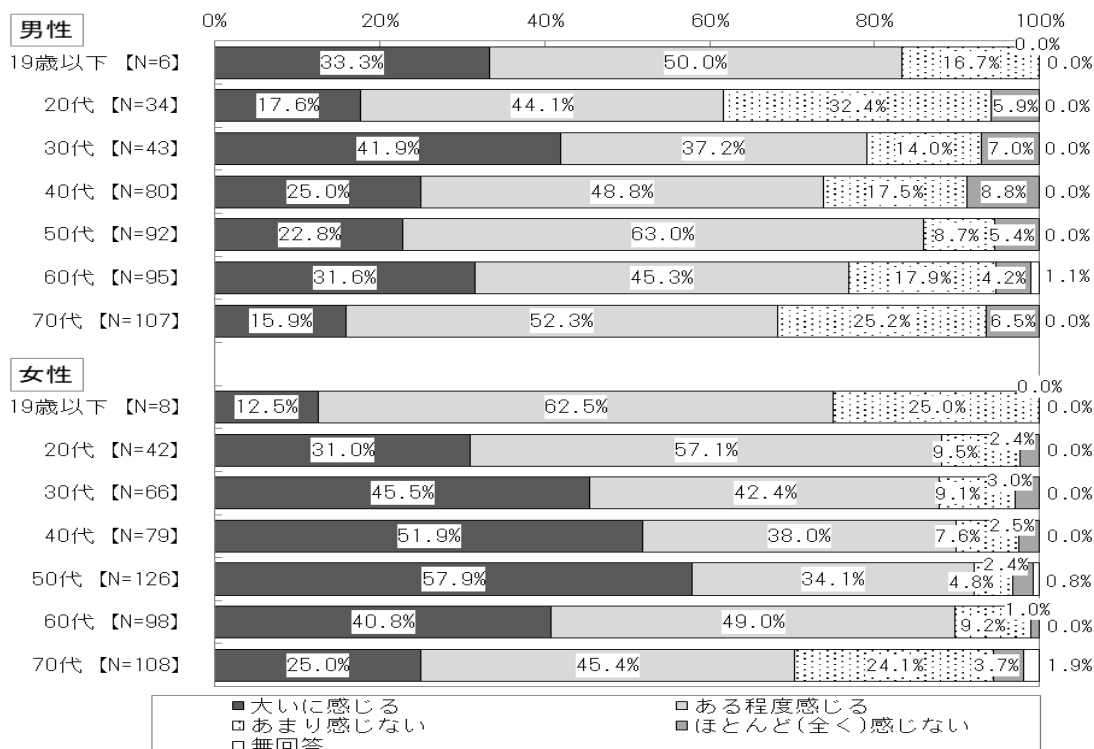
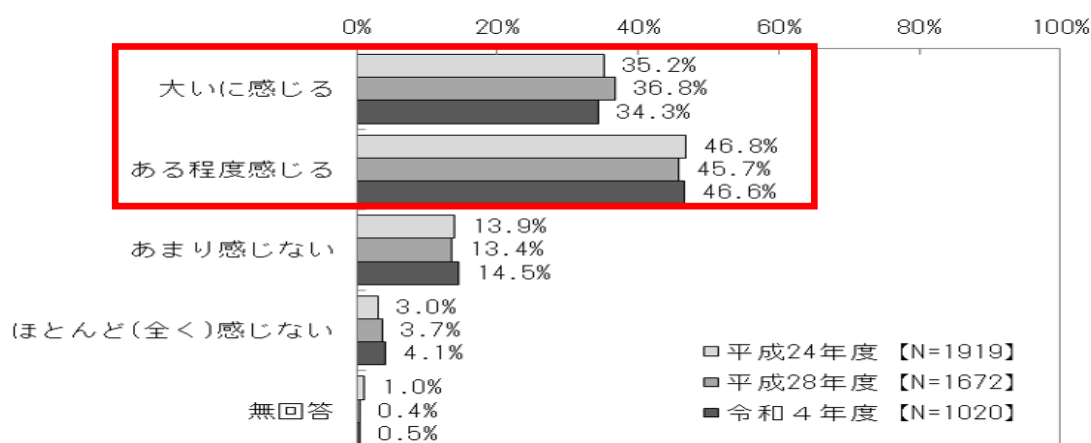
※調査概要及び詳細な結果については 54 ページ以降の「4.スポーツに関する市民意識調査結果」を参照してください。

○運動不足を感じているかどうかは、「ある程度感じる」が **46.6%**と最も多く、次いで「大いに感じる」が **34.3%**、「あまり感じない」が **14.5%**、「ほとんど(全く)感じない」が **4.1%**となっています。

○運動不足を感じていることを、男女別・年代別にみると、「大いに感じる」は、男性では **30代が最も多く**、女性では **50代が約6割に上っています**。

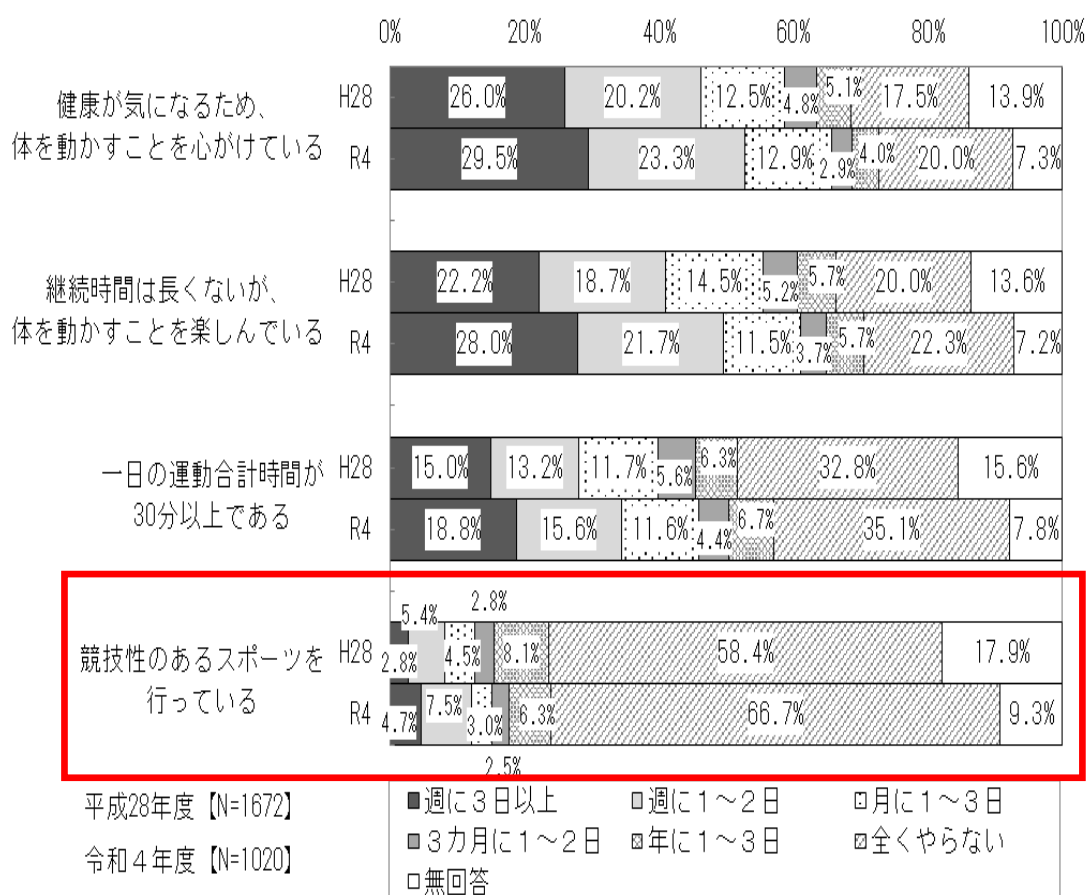
○前回調査と比較すると、「大いに感じる」はわずかに**減少**しています。

運動不足を感じているか



○運動やスポーツの頻度を、過去調査と比較すると、いずれも運動やスポーツの頻度がおおむね増加していますが、全くやらない頻度も増加しています。特に競技性のあるスポーツを行っている頻度で、全くやらないが最も多く66.7%となっています。

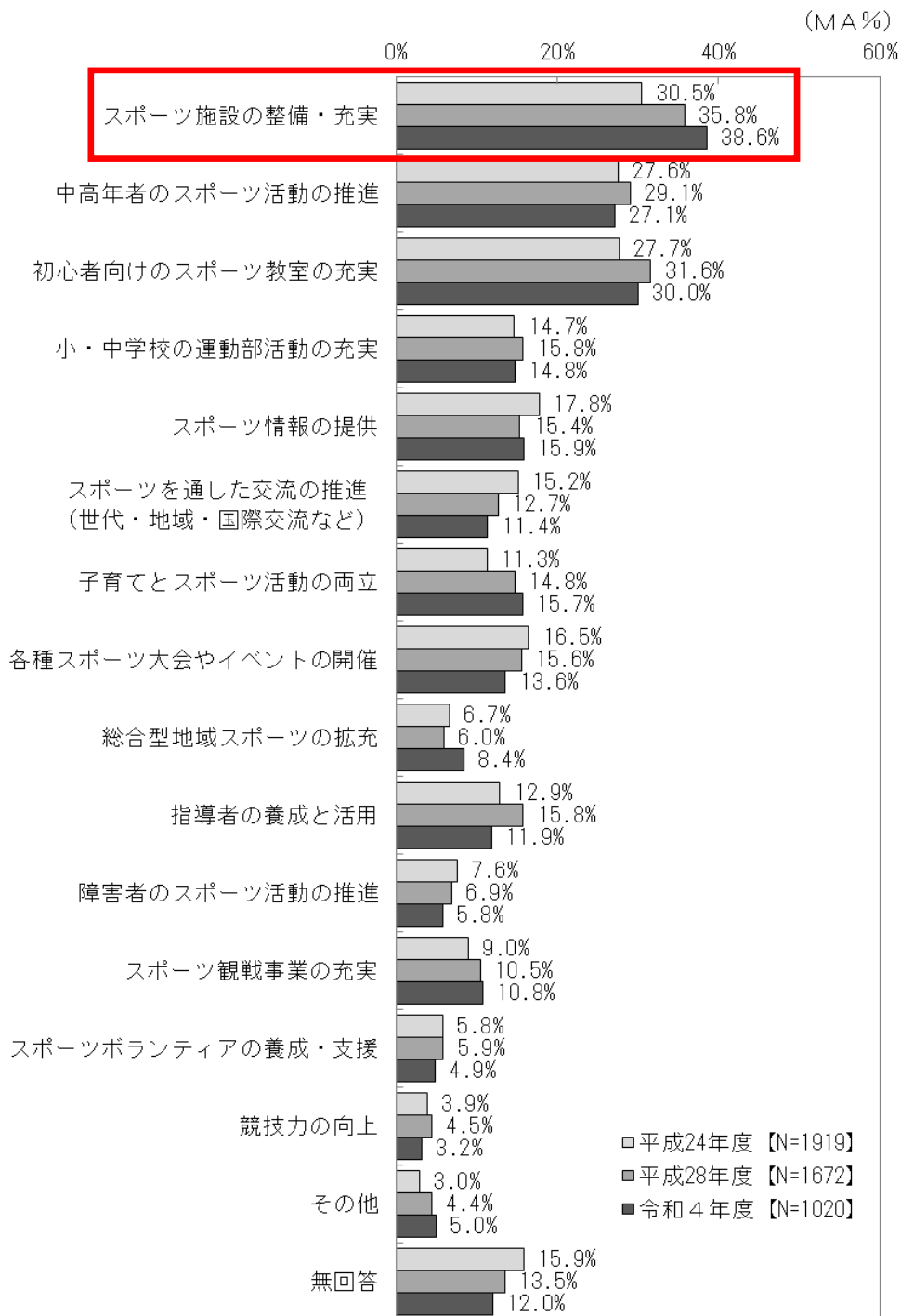
運動やスポーツの頻度／過去調査との比較



○スポーツの振興・発展のために京丹後市に求めることは、「スポーツ施設の整備・充実」が 38.6%と最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室の充実」が 30.0%、「中高年者のスポーツ活動の推進」が 27.1%などとなっています。

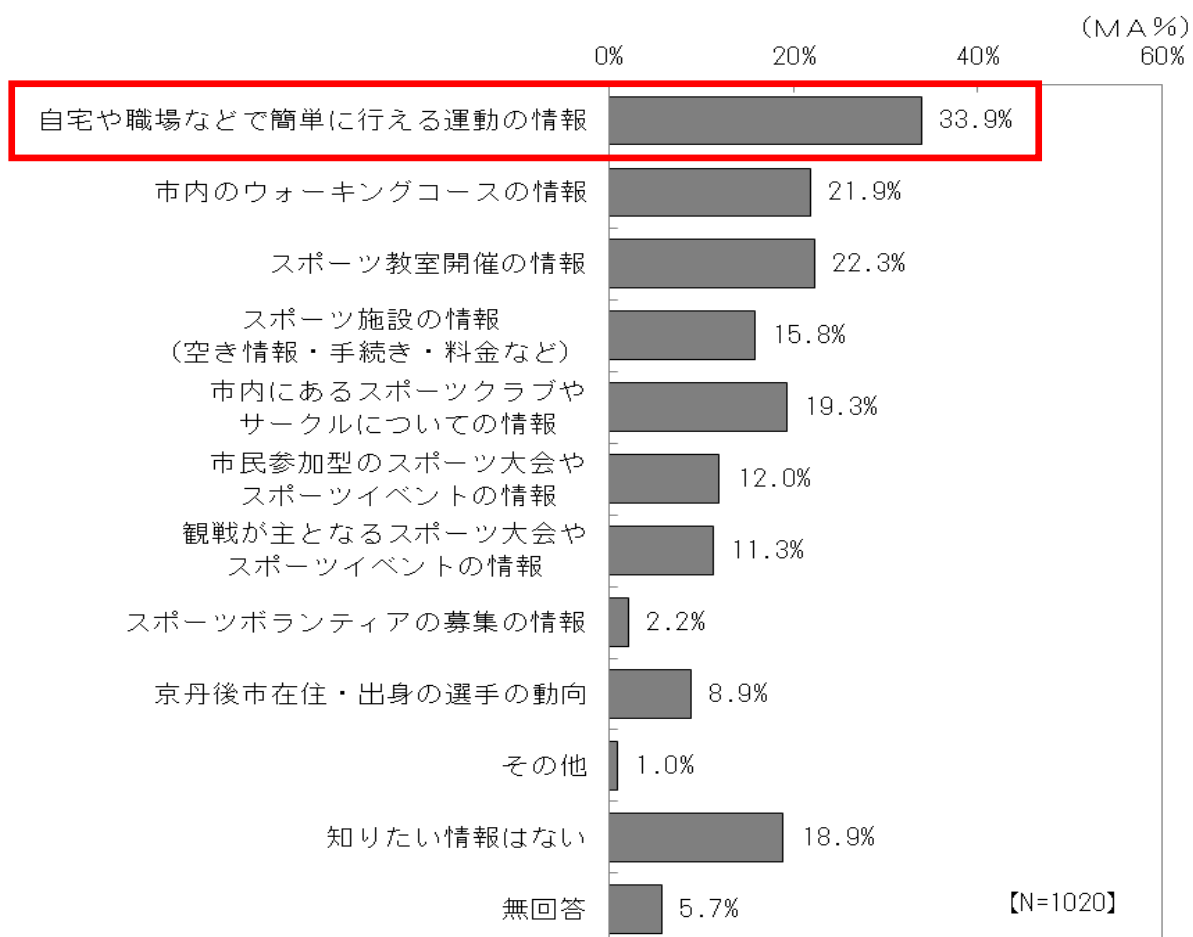
○前回調査と比較しても「スポーツ施設の整備・充実」の割合が増加しています。

スポーツの振興・発展のために、京丹後市に求めること



○スポーツに関して知りたい情報は、「自宅や職場で簡単に行える運動の情報」が **33.9%**と最も多く、次いで「スポーツ教室開催の情報」が **22.3%**、「**市内のウォーキングコースの情報**」が **21.9%**などとなっています。

スポーツに関して知りたい情報



5. 第2次スポーツ推進計画（前期）の評価と課題

生涯にわたってスポーツに取り組むためには、世代ごとの課題を把握し、必要な取組について整理する必要があります。また、誰もが気軽にスポーツができる環境づくりに向けて、これまでの京丹後市におけるスポーツ施策の展開を踏まえ、アンケート調査結果から市民意向を検証し、スポーツを支える人材、施設の整備・充実、情報発信など、スポーツ環境の整備に向けた取組を推進し、スポーツのまちづくりの実現を目指します。

（１）これまでのスポーツ施策の評価

本市では、平成26年3月に策定した「第1次京丹後市スポーツ推進計画」を見直し、平成30年3月に「第2次京丹後市スポーツ振興計画」を策定しました。

この計画の中で、「ライフステージ[※]に応じたスポーツ施策の推進」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」「スポーツ[※]観光のまちづくり」を柱に目標達成に向けて各施策の展開を図ってきました。

①「ライフステージに応じたスポーツ施策の推進」

＜評価＞

- ・令和2年度と3年度は、コロナの影響によりスポーツ活動の制限があり、ニュースポーツ教室やノルディックウォーキング教室等開催することができず、実施回数、参加人数とも減少となりました。
- ・コロナにより運動する機会が減る中、ケーブルテレビや防災行政無線放送によるラジオ体操等の運動を提供し、体を動かす機会の維持拡大を図りました。
- ・「チャレンジデー」への継続参加により、令和4年に市民参加率が50%を超えるなど、日常的に運動し、気軽にスポーツに接するきっかけづくりにつながりました。
- ・地域公民館、市体育協会、学校と連携した事業などにより、女性や高齢者、子どもなどが身近にスポーツに取り組む機会を拡充しました。
- ・市青少年スポーツ協会の設立により、助成金交付の他、加盟団体の交流や指導者研修の機会を拡充し、青少年のスポーツ活動充実につながりました。
- ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾力ヌーセンターのリニューアルにより、市民、青少年のスポーツ活動の機会拡充につながりました。

＜課題＞

- ・ニュースポーツ教室などは、一定の参加はあるものの、参加者は固定化の傾向にあり、仕事や家事、育児、介護等でスポーツをすることが難しい世代、また障害者、高齢者等に配慮した魅力ある教室、行事の開催や情報を提供する必要があります。
- ・チャレンジデー終了（R5）以降、市民が日常的にスポーツに親しむきっかけ、機会につながる取組の検討をする必要があります。

- ・少子化が進む中、学校部活用を含め、青少年がスポーツに親しむ環境の維持・継続を効果的に図る必要があります。
- ・パラスポーツ（障害者スポーツ）について、より幅広い競技や、より多くの市民に普及・理解を進める必要があります。

②「スポーツ競技力の向上」

<評価>

- ・市体育協会が主催する「市総合体育大会」に、令和4年度は、約 1,500 人の選手が参加し、競技力向上及び交流機会を提供しました。
- ・市青少年スポーツ協会や市体育協会による各種指導者研修会の実施により、資質向上に努めながら活動を推進することができました。
- ・東京 2020 大会の事前合宿受入や、WMG プレ大会の開催により、市民のスポーツに対する関心を高めました。
- ・令和 4 年度実施のスポーツに関する市民意識調査（アンケート）結果から、スポーツクラブへの参加状況は、「今も参加していないし、今後も参加するつもりがない」が 59.5%と最も多く、「今は参加していないが、いずれ参加したい」が 19.9%、「参加している」が 17.4%となっています。

<課題>

- ・市体育協会の登録者数が年々減少するなど、競技スポーツ離れが見られます。競技団体の在り方を見直すとともに、競技スポーツに親しむための一層の環境整備する必要があります。
- ・青少年から学校部活動まで連携した、一貫性のある指導体制を検討する必要があります。
- ・ジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要です。
- ・人口減少、高齢化に伴い、各競技スポーツにおける指導者の確保が急務です。
- ・スポーツ協会法人化移行後の体制強化及び活動の活性化の推進が重要です。

③「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」

<評価>

- ・コロナ禍にあって、令和 2 年 8 月から令和 4 年度末まで公共体育施設の無料開放を行うことにより、市民が負担なくスポーツ活動に勤しみ、元気・活力・健康増進を図ることにつながりました。
- ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾力ヌーセンターのリニューアルにより、スポーツ環境の整備、充実を大きく進めることができ、新たに大会を誘致するなど、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ることができました。
- ・令和 4 年度実施のスポーツに関する市民意識調査（アンケート）結果から、スポーツの振興・発展のために、市に求めることとして「スポーツ施設の整備・充実」が 38.6%と最も多くなっ

ています。

＜課題＞

- ・利用が少ない施設は引き続き、廃止を検討し、効率的な施設の維持管理に努める必要があります。
- ・より利便性の高い公共施設予約システムの導入と効果的な運用を進める必要があります。
- ・京丹後市はごろも陸上競技場、峰山総合公園、久美浜湾カヌーセンターを中心に、大会や合宿のより積極的な誘致等、一層の利用促進を図る必要があります。

④「スポーツ[※]観光のまちづくり」

＜評価＞

・コロナ禍にあって令和２年度と～３年度は多くのイベントが中止となったが、令和４年度は可能な

限り必要な対策を講じた上でスポーツイベントを開催し、市内外の参加者にスポーツができる環境を提供することができました。

- ・令和４年度実施のスポーツに関する市民意識調査（アンケート）結果から、京丹後市が主催するスポーツイベントに参加したことがある人は１９.１％。年代で見ると２０歳代が２６.０％と最も高く、７０歳代は１０.２％と低い結果となっています。

＜課題＞

- ・ポストコロナ時代において、スポーツイベント等の開催による交流人口の増加に努め、地域における経済波及効果及びスポーツを通じた本市の魅力発信に繋げていく必要があります。
- ・ボランティアの確保など、スポーツイベントを支える体制を整備する必要があります。
- ・２０２７年に延期となったＷＭＧ関西大会の成功に向け、プレ大会の開催など必要な準備を進める必要があります。

第3章 基本的な考え方

1. 基本理念

市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち

本市では、年齢や性別、障害の有無に関わらず、市民がいつでも、いつまでも、個々の状況に合わせて、運動やスポーツに親しむことができる「ライフステージ[※]に応じたスポーツ施策の推進」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」「スポーツ[※]観光のまちづくり」の実現を目指してきました。今後も子どもから高齢者まで、全ての市民が気軽にスポーツに関心を持ち、健康増進や生きがいにつなげ、スポーツを通じた市民の交流を促進することで活力あるまちを築いていきます。

本計画においても、未来を創る子どもから時代を歩んできた高齢者まで、ライフステージ[※]に応じたスポーツのあり方を考えるとともに、子どもの運動能力の底上げや高齢者の生きがいづくりと障害者スポーツの推進を図ります。さらに、本市の豊かな自然環境を活かしたスポーツの推進、「ワールドマスタースゲームズ 2027 関西」に向けた取組など、国際社会に向けた多面的なスポーツ施策の展開も図りながら、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」をコンセプトに、スポーツ施策を推進し、スポーツを通じて京丹後市のさらなる活性化を図ります。

2. 計画の目標

基 本 目 標		策定時【平成28年度】	現状【令和4年度】	目標【令和9年度】
1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	(33.0) %	49.7%	65.0%
2	青少年スポーツ教室参加率	—	35.3%	45.0%
3	世界大会・全国大会出場者数	62 人	51 人	65 人
4	京都府民総合体育大会入賞競技数	8 競技	6 競技	10 競技
5	京丹後市総合スポーツ大会参加者数	1,762 人	1,304 人	1,400 人
6	公共スポーツ施設の利用回数	12,419 回	15,407 回	16,000 回
7	スポーツイベント参加者数	13,661 人	8,014 人	20,000 人

3. 基本方針と基本施策

基本理念である「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」を実現するための4つの基本方針と、基本方針を実現するための基本施策を定めます。

＜基本方針1＞ ライフステージに応じたスポーツ施策の推進

[基本施策]

- (1) スポーツによる市民の健康・体力づくりを促進します
- (2) 高齢者スポーツを推進します
- (3) 子どものスポーツの機会の充実を図ります
- (4) 身近にスポーツを親しむ環境づくりを推進します

＜基本方針2＞ スポーツ競技力の向上

[基本施策]

- (1) 競技力の向上を図ります
- (2) 指導者の育成・確保を推進します

＜基本方針3＞ スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実

[基本施策]

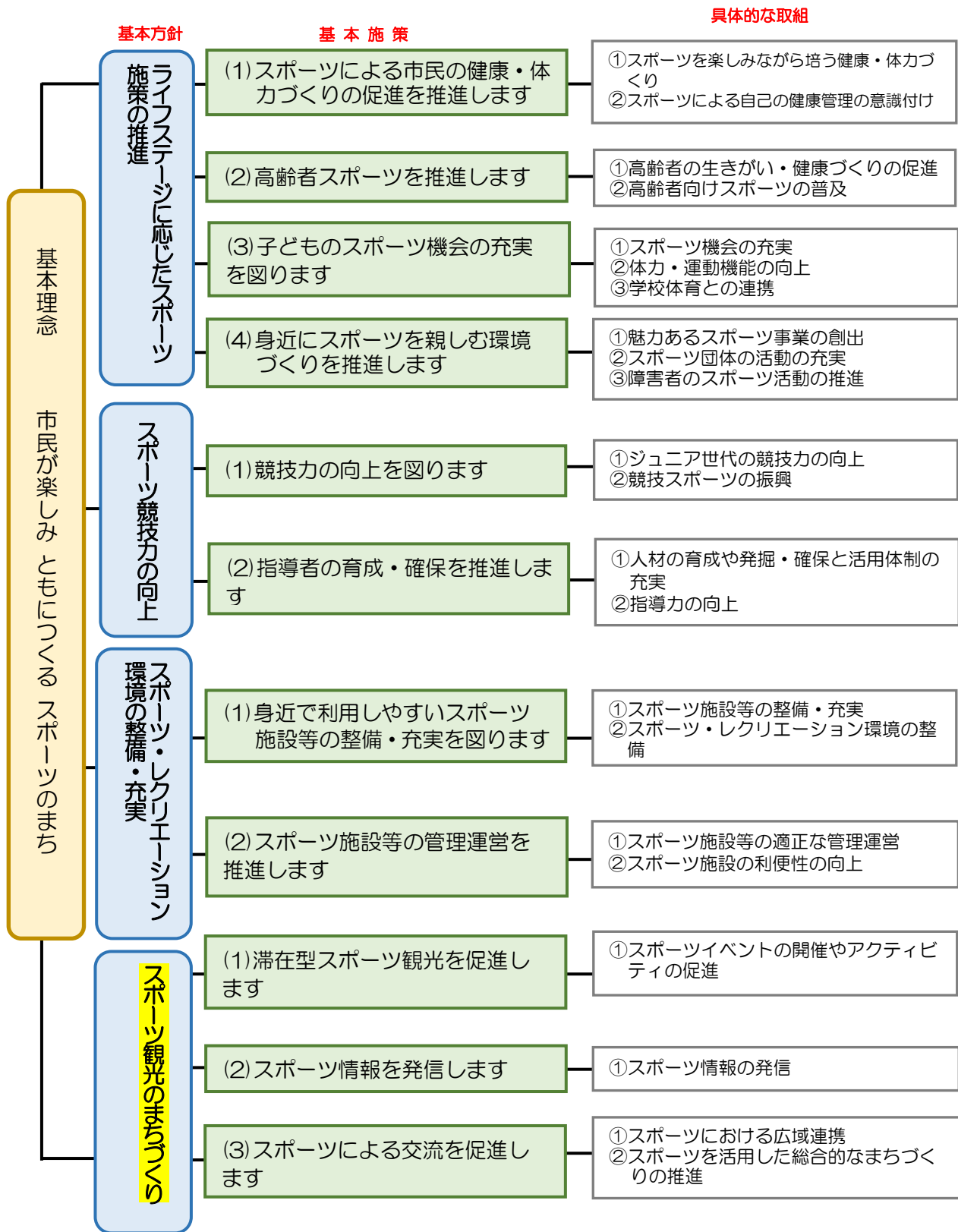
- (1) 身近で利用しやすいスポーツ施設等の整備・充実を図ります
- (2) スポーツ施設等の管理運営を推進します

＜基本方針4＞ スポーツ観光のまちづくり

[基本施策]

- (1) 滞在型スポーツ観光を促進します
- (2) スポーツ情報を発信します
- (3) スポーツによる交流を促進します

4. 施策体系



5. 具体的な取組

基本方針 1

ライフステージ^{*}に応じたスポーツ施策の推進

◇基本目標◇

基 本 目 標		現状値（R4）	最終目標値（R9）
1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	49.7%	65.0%
2	青少年スポーツ教室参加率	35.3%	45.0%

基本施策(1) スポーツによる市民の健康・体力づくりを促進します

具体的な取組	①スポーツを楽しみながら培う健康・体力づくり
◇市民が身近な地域、地区、「新たな地域コミュニティ」、その他団体等（以下、「地域等」という。）において、スポーツに親しみ、健康づくりへの関心を高めるため、スポーツ推進委員が、年間を通じて「ノルディックウォーキング[*]」や「ニュースポーツ[*]」など身近な場でスポーツの機会を提供し、スポーツ活動に取り組みます。 ◇気軽に親しめるスポーツ（ウォーキング、体操など）を推進していきます。 ◇地域等において、生涯を通じてスポーツとの楽しい出会いの「場づくり」を提供するなど、たくさんの運動・スポーツに触れ合う機会や運動・スポーツをするきっかけづくりに取り組みます。	

具体的な取組	②スポーツによる自己の健康管理の意識付け
◇運動・スポーツによる事故や怪我を未然に防止するために、まず自分の健康状態や運動能力を事前に把握することが重要であり、自己の健康管理意識の高揚を図ります。 ◇新体力テスト[*]は、自己の体力年齢を知る機会として有効な手段であることから、社会人の新体力テスト[*]の実施を全市的な取組として進めます。 ◇運動・スポーツは誰もが取り組めるものというイメージを共有し、ウォーキング等のイベントを定期的を開催して、個人の体力や生活のリズムに合わせ気軽に取り組める運動・スポーツの普及啓発に取り組みます。	

基本施策(2) 高齢者スポーツを推進します

具体的な取組	①高齢者の生きがい・健康づくりの促進
◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関り、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取組を進めます。 ◇運動・スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けの運動・スポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。 ◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力ある運動・スポーツの提案を行います。	

具体的な取組	②高齢者向け運動・スポーツの普及
◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、地域等各地区で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。 ◇高齢者が取り組みたい運動・スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの運動・スポーツとして、ノルディックウォーキングを推進します。	

基本施策(3) 子どものスポーツ機会の充実を図ります

具体的な取組	①スポーツ機会の充実
◇スポーツ活動を通じ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育てるため、放課後や地域等における子どものスポーツ機会の充実に取り組みます。	

具体的な取組	②体力・運動機能の向上
◇体力テスト等調査の実施により、児童生徒の体力の実態を客観的に把握し、継続的な体力向上の取り組みを進めるとともに、運動・スポーツに苦手意識のある子どもでも気軽に参加できるイベント・大会等を開催します。 ◇子どもがスポーツに取り組む環境の強化を図るため、令和2年度に市青少年スポーツ協会を設立しました。今後は、地域・家庭・学校の協力を得ながら、市青少年スポーツ協会が連携をより一層強化することで、スポーツに親しむ環境を構築し、楽しさを感じさせる子どもスポーツの推進を図ります。	

具体的な取組	③学校体育との連携
◇運動の日常化を図る取組を推進するとともに、体育授業はもとより学校行事等においても、子どもたちの体力、運動能力の向上につながる取り組みを推進し、学校・地域・児童生徒・保護者等が協力してスポーツを実施できるよう支援を図ります。 ◇少子化に伴い、各中学校において部活動種目が減少していくなか、子どもたちのスポーツ環境の充実を図るため土日の地域移行の検討及び推進を図ります。	

基本施策(4) 身近にスポーツを親しむ環境づくりを推進します

具体的な取組	①魅力あるスポーツ事業の創出
◇市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要であり、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツを実施し、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をするとともに、また「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催に取り組みます。	

具体的な取組	②スポーツ団体の活動の充実
◇地域スポーツ振興の中心的な組織である市スポーツ協会が中心となり、地域スポーツ振興に取り組みます。 ◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、継続して役割を果たせるように、活動の充実や自立的な運営につながるよう育成・支援を行います。 ◇青少年の心身の健全育成の推進を目的とした市青少年スポーツ協会の活動を推進します。	

具体的な取組	③障害者のスポーツ活動の推進
◇障害のある人をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、誰もが楽しめるニュースポーツの普及推進に取り組みます。 ◇障害のある人に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成に取り組みます。 ◇障害のある人も、楽しくスポーツに親しむことのできる環境の整備や障害者スポーツへの理解を深めるため障害者関係団体等との連携を図ります。	

基本方針2	スポーツ競技力の向上
--------------	-------------------

◇基本目標◇

基 本 目 標		現状値（R4）	最終目標値（R9）
3	世界大会・全国大会出場者数	51人	65人
4	京都府民総合体育大会入賞競技数	6競技	10競技
5	京丹後市総合スポーツ大会参加者数	1,304人	1,400人

基本施策(1) 競技力の向上を図ります

具体的な取組	①ジュニア世代の競技力の向上
◇子どもが好きなスポーツで将来の夢や希望を持ち、競技を実践するだけでなく、高いレベルの競技を観戦できる機会を設け、子どもがアスリートを志す意欲の向上に取り組めます。 ◇青少年スポーツ教室等による競技人口の拡大を図るとともに、学校体育団体等と連携を深め、将来性を有するジュニアアスリートを育成する支援体制を継続して取り組めます。	

具体的な取組	②競技スポーツの振興
◇競技スポーツ振興の中心的な組織である市スポーツ協会が中心となり、競技スポーツ振興等活動の充実に取り組めます。 ◇市総合スポーツ大会や京都府府民総合体育大会等への参加者の拡大を図ります。	

基本施策(2) 指導者の育成・確保を推進します

具体的な取組	①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実
◇スポーツ人口の拡大及び競技力の向上を図るため、指導者の確保と指導体制の確立が不可欠です。これからの指導者に求められることは、専門分野の指導力だけでなく、栄養指導やスポーツ障害の予防、メンタルトレーニング等に至るまで多様化しています。このような状況に直面している市青少年スポーツ協会等の指導者と連携を深め、研修会等に取り組めます。 ◇市民ニーズに応じた指導者の養成やスポーツ活動実施率向上を図るため、市スポーツ協会等と連携して各種研修会や講演会開催に取り組めます。	

具体的な取組	②指導力の向上
◇競技力の向上の視点に立った基礎体力の向上等、共通の課題や効果的な指導方法について、具体的な実践から学び、必要な情報を共有できるよう指導者の指導力向上及び育成を目的とした研修会や講習会等の開催及び参加への支援に取り組めます。	

基本方針3	スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実
--------------	------------------------------

◇基本目標◇

	基 本 目 標	現状値（R4）	最終目標値（R9）
6	公共スポーツ施設の利用回数	15,407回	16,000回

基本施策(1) 身近で利用しやすいスポーツ施設等の整備・充実を図ります

具体的な取組	①スポーツ施設等の整備・充実
◇スポーツ施設は、市民のスポーツ活動の拠点です。スポーツ施設の利用実態を把握し利用率の向上を図ることが重要ですが、老朽施設や利用が少ない施設も少なくありません。市内全体のバランスを考慮した適切な配置と施設・設備の維持修繕に取り組みます。 ◇学校体育施設は、市民にとって身近なスポーツ活動の場です。このため、利便性の向上を図りつつ引き続き施設の開放を進めます。併せて、老朽化が進む中で、今後も継続して市民が安全・快適に利用できるよう計画的な施設・設備の維持修繕に取り組みます。	

具体的な取組	②スポーツ・レクリエーション環境の整備
◇各種大会の誘致及びプロスポーツの競技観戦等を推進するため、必要な規模・水準を満たすスポーツ施設等の整備を検討します。 ◇障害のある人や高齢者など、誰もが利用しやすいバリアフリー[*]化などに配慮したスポーツ環境の整備に努めます。 ◇市民ニーズに即した新たなスポーツ・レクリエーション施設等、スポーツ環境の整備を検討・推進します。	

基本施策(2) スポーツ施設等の管理運営を推進します

具体的な取組	①スポーツ施設等の適正な管理運営
◇多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設の運営体制を強化し、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇スポーツ施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理[*]や委託などについての検討に取り組みます。	

具体的な取組	②スポーツ施設の利便性の向上
	◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、施設利用サービスの向上に取り組めます。 ◇スポーツ施設の利用促進、交流人口の拡大を目的に、関係団体と連携し、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に取り組めます。

基本方針4	スポーツ観光のまちづくり
-------	--------------

◇基本目標◇

基本目標		現状値（R4）	最終目標値（R9）
7	スポーツイベント参加者数	8,014人	20,000人

基本施策(1) 滞在型スポーツ観光を促進します

具体的な取組	①スポーツイベントの開催やアクティビティの促進
◇自然豊かな観光資源を活用したスポーツイベント（丹後 100km ウルトラマラソン、丹後大学駅伝、ドラゴンカヌー大会、「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西[※]」など）の開催、ジオパークの魅力を活かしたアクティビティの場や機会を提供することで本市の魅力を発信し、参加者の増加及びリピーターの確保を図ります。 ◇豊かな地域資源と四季を通じて様々なスポーツやレクリエーション活動が体験できる環境を活かしたスポーツ事業に取り組みます。 ◇国際大会等の大規模大会を開催するため、スポーツボランティアによるマンパワーが必要不可欠であり、スポーツを支えるスポーツボランティア活動を奨励し、人材の育成と活用に取り組みます。	

基本施策(2) スポーツ情報を発信します

具体的な取組	①スポーツ情報の発信
◇海の京都DMO[※]や豊岡DMOなど、広域連携による効果的なプロモーションを活用して、スポーツイベント等の周知を図ります。 ◇スポーツ教室や競技スポーツ情報を、広報誌やホームページ、SNS[※]等の情報発信に取り組みます。	

基本施策(3) スポーツによる交流を促進します

具体的な取組	①スポーツにおける広域連携
◇大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等を誘致することにより、交流人口の拡大、地域経済効果の向上を図るとともに、観光振興を通じた地域スポーツ・競技スポーツの充実を図るなど、スポーツによるまちづくりに取り組みます。 ◇「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」に取り組むことで、国内外へ向けた情報発信、スポーツと観光を組み合わせた「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を図ります。 ◇国際大会等を開催し、国内外のスポーツ選手と積極的に関わることで、スポーツを通じた国際交流を促進します。	

具体的な取組	②スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進
◇各種スポーツイベントの積極的な実施はスポーツの交流機会の拡充、スポーツを通じた幅広い地域間交流と市民参加を促進することに繋がります。市民が関わるスポーツイベントを開催・誘致し、地域、地区コミュニティの活性化を図ります。 ◇スポーツは、市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むために必要なものであるばかりではなく、地域振興や経済効果そして長寿社会を築くなどまちづくりを進めるための様々な効果に対する期待があります。このため、市民の誰もがそれぞれの年齢や体力、目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツに関わることができる機会を効果的に提供します。 ◇ジオパークなどの地域資源や特徴を活かしたスポーツ活動を推進するとともに、関係機関と連携を図りながら、「スポーツ観光」の視点による取り組みを発展させていきます。 ◇スポーツの推進は「世界共通の人類の文化」として、本市はもとより国・府のスポーツの発展にもつながります。今後、さらにスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進することにより、健康の保持増進や体力の向上だけでなく、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成につながるよう、創造的な文化活動の1つとして各事業と連携を図ります。	

第4章 計画の推進に向けて

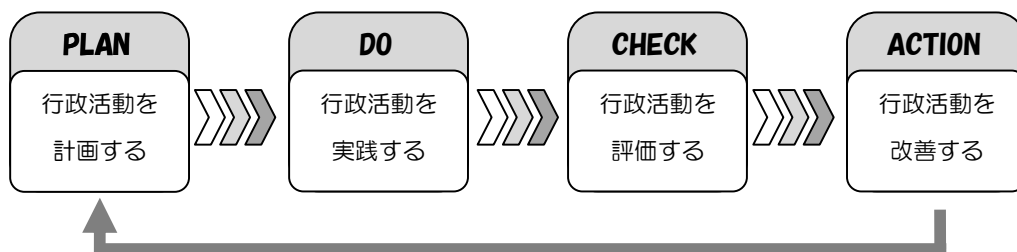
計画の進捗管理

(1) 市役所庁内における推進体制の整備

計画は生涯学習課を事務局とし、スポーツを通して京丹後市の活性化を市役所全庁的に推進していくため「京丹後市スポーツのまちづくり推進本部」を中心に関係各課と情報共有等、連携を図りながら取り組みを推進します。本計画で掲げた市民のスポーツ推進に関する各施策については、PDCAサイクル^{*}（計画管理のためのサイクル）を実行し、毎年、担当課において点検や評価を行うことで計画の進捗状況を把握し、実効性を確保します。

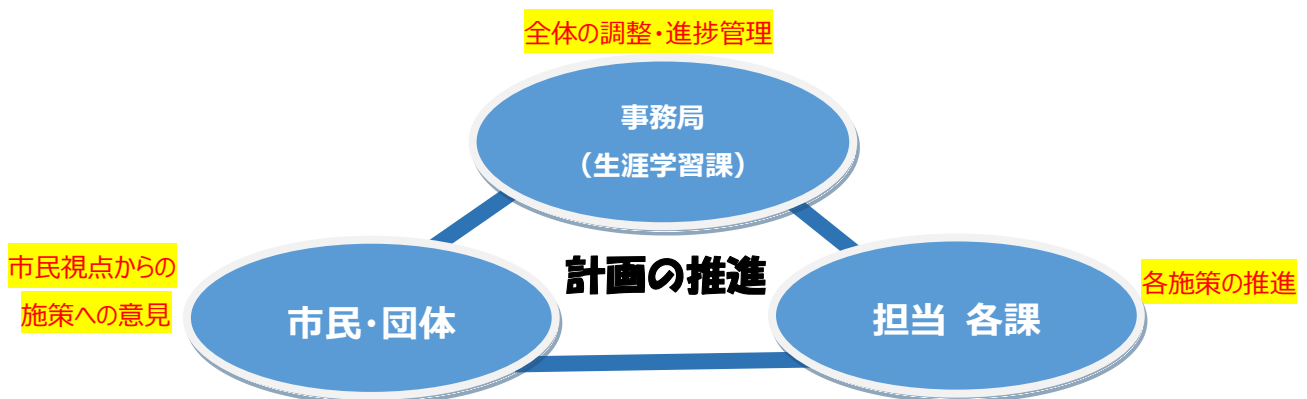
※平成30年4月1日—社会教育課から生涯学習課へ名称変更

■PDCAサイクル



(2) 市民視点からの推進体制の整備

計画の進捗状況や数値目標の達成状況を広報紙やホームページ等を活用して随時公表することで、市民や関係団体などの意見の施策への反映に努めます。また、京丹後市スポーツ推進審議会条例に基づき「京丹後市スポーツ推進審議会」を設置し、本計画で示したスポーツ推進に関する施策や事業の進捗確認等調査及び審議を行います。京丹後市スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を管理します。その際、本市のスポーツ推進に重要な役割を担う各種団体と定期的に意見交換を行い、施策や事業の推進に活かします。

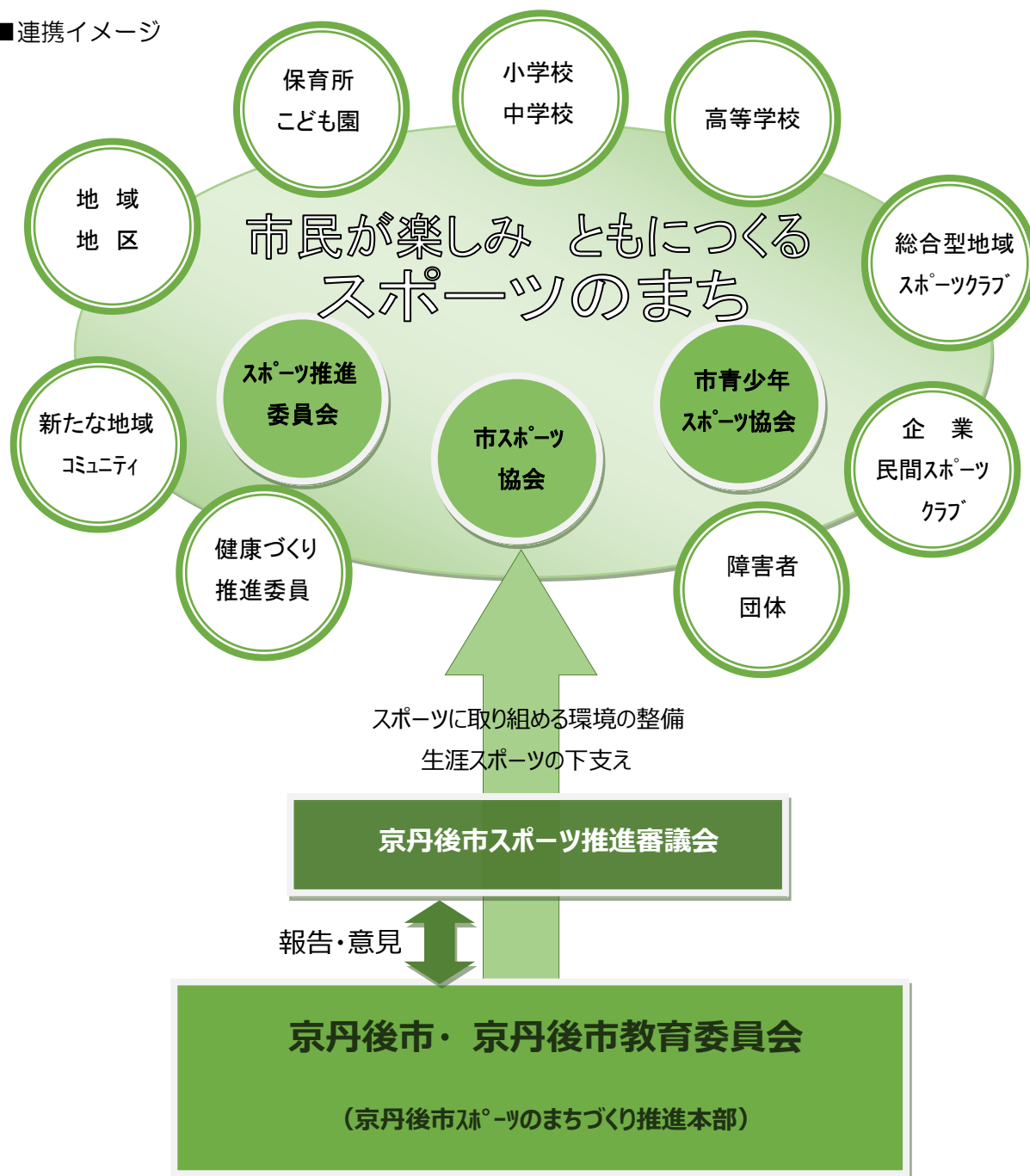


(3) 市民、地域団体等との連携・協働

市民が日常的にスポーツに取り組めるよう、意識啓発活動を推進するとともに誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。また、統計データの収集や、定期的な市民アンケートの実施などにより、市民ニーズを把握した上で計画の改善などに活かします。

また、より一層のスポーツ活動の振興を図るため、スポーツに取り組む地域等各種団体の自主的な活動を支援するとともに、地域等各種団体と連携・協働した取組を積極的に実施します。

■連携イメージ



資料編

第5章 本調査研究の成果と課題

5.3 スポーツや身体運動の促進による医療費削減効果

本調査研究からは、大学、自治体、企業において非常に優れた研究や事業が実施されており、ウォーキングやストレッチ・筋力体操などの身体運動の促進は、健康維持増進や生活習慣病予防といった身体面での効果が高く、こうした運動の継続は、確実に医療費削減つながることが分かった。信州大学の研究報告では、信州大学が開発した「インターバル速歩」を5カ月間継続すると、主な効果として、①体力が最大 20%向上する、②生活習慣病の数値が約 20%改善する、③年間にかかる医療費を約 20%節約できる、という「インターバル速歩 20 の法則」が実証されている。したがって、1 人でも多くの国民がスポーツや身体運動に取り組み、継続できれば、国民全体では生活習慣病の改善が見込まれ、莫大な医療費削減となる。とりわけ、ウォーキングは、老若男女を問わず、いつでも、どこでも、お金をかけずに、手軽にできる身体運動であることから、国民に最も推奨される身体運動である。

今後は、本調査研究から明らかになった医療費削減に資するウォーキングやストレッチ・筋力体操などの身体運動の取組を自治体、企業、国民全体に周知し、運動の実施と継続に向けた行動変容を促すことが最大の課題となる。有効な行動変容の手段については「4.3 ヒアリング結果の考察」記載したとおりであり、こうした有効な手段を活用した取組が、自治体、企業、国民全体に広がっていくことが必要不可欠である。

近年、我が国は世界に類を見ないスピードで高齢化が進み、これに伴い医療費も急増している。医療費が多くかかるのは 60 代以上の年齢層である。60 代以上の年齢層が運動の実施により、元気で自立した生活ができること、すなわち健康寿命の延伸が医療費削減や介護保険料の削減には最も効果がある。健康寿命の延伸に向け、ウォーキングやストレッチ・**筋力権力**体操などの身体運動が国民に広く普及していくことを期待したい。

京丹後市スポーツまちづくり推進本部設置規程

○京丹後市スポーツのまちづくり推進本部設置規程

平成25年5月27日

訓令第8号

(設置)

第1条 スポーツが活力ある健全な地域社会の発展に大きく資することを踏まえ、スポーツを通じた京丹後市の活性化を全庁的に推進していくため、京丹後市スポーツのまちづくり推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進本部は、前条に規定する設置の目的を達成するため、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進に関すること。
- (2) 市民のスポーツ活動の推進に関すること。
- (3) 京丹後市スポーツ推進計画に伴う調査研究に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほかスポーツの推進に関すること。

(組織)

第3条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。

2 本部長は、京丹後市副市長の事務分担に関する規則（令和3年京丹後市規則第10号。以下「事務分担規則」という。）第2条の規定による事務を担当する副市長をもって充てる。

3 本部長代行は、事務分担規則第2条の規定による事務を担当しない副市長をもって充てる。

4 副本部長は、教育長をもって充てる。

5 本部員は、市長公室長、総務部長、市民環境部長、医療部長、健康長寿福祉部長、商工観光部長、建設部長及び教育次長をもって充てる。

(本部長、本部長代行及び副本部長)

第4条 本部長は、推進本部を総括する。

2 本部長代行は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 副本部長は、本部長代行を補佐し、本部長代行に事故があるとき又は本部長代行が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 推進本部の会議は、本部長が招集し、これを主宰する。

2 本部長は、必要があると認めるときは、会議に本部員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 推進本部の事務を処理するため、事務局を教育委員会事務局生涯学習課に置く。

2 事務局長は、教育委員会事務局生涯学習課長をもって充てる。

3 事務局次長は、教育委員会事務局生涯学習課スポーツ推進室長をもって充てる。

4 事務局員は、前2項に規定する者を除く教育委員会事務局生涯学習課の職員をもって充てる。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成25年5月27日から施行する。

附 則（平成29年4月1日訓令第4号）

この訓令は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月30日訓令第6号）

この訓令は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和元年5月30日訓令第8号）

この訓令は、令和元年5月30日から施行し、改正後の京丹後市スポーツのまちづくり推進本部設置規程は、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和2年5月15日訓令第11号）

この訓令は、令和2年5月16日から施行する。

附 則（令和3年4月1日訓令第6号）

この訓令は、令和3年4月1日から施行する。

京丹後市スポーツ推進審議会条例

○京丹後市スポーツ推進審議会条例

平成16年4月1日

条例第46号

改正 平成23年11月30日条例第28号

(設置)

第1条 市民スポーツの推進を図るため、スポーツ基本法[※](平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、京丹後市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、スポーツの推進に関する事項について調査及び審議する。

(組織)

第3条 審議会は、12人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

(1) スポーツに関する学識経験者

(2) 関係行政機関の職員

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長は、その議長となる。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成23年11月30日条例第28号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

京丹後市スポーツ推進審議会委員名簿

任期：令和5年度から6年度

役 職	氏 名	所 属
会長	小谷 順一	(一社)京丹後市スポーツ協会副会長
副会長	板倉 俊明	京丹後市商工会事務局長
	小石原 正志	(一社)京丹後市スポーツ協会 常務理事
	田崎 仁志	京丹後市スポーツ推進委員会会長
	足立 俊治	網野町ジュニアスポーツ協会監査
	小森 直子	スポーツインストラクター
	吉岡 美乃里	あみの体操クラブ指導者
	川口 勝彦	京丹後市区長連絡協議会(大宮町区長連絡協議会会長)
	安井 國士	全国高等学校体育連盟力ヌー専門部副委員長 (京都府立清新高等学校教諭)
	谷口 正郎	京丹後市青少年スポーツ協会会長
	杉本 智	京丹後市小学校体育連盟会長
	藤原 英一	京丹後市中学校体育連盟会長

順不同・敬称略

検討経緯

名称	日程	内容
諮問	令和5年 2月22日	教育委員会教育長より「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の中間見直しについて諮問
第1回審議会	5月25日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討
第2回審議会	7月25日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討
第3回審議会	10月30日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討
第4回審議会	11月20日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討
答申		教育委員会教育長へ計画見直し案(答申)提出
パブリックコメント		

第2次京丹後市スポーツ推進計画 前期(H30～R4年度)実施概要

＜基本目標1＞ライフステージに応じたスポーツ施策の推進

取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体
(1) スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進	①スポーツを楽しみながら 培う健康・体力づくり	・ニュースポーツ教室：ビーチボールバレー、きばれえ、ユニボッチャ、ファミリーバドミントン等 [平成30年度:参加人数326人][令和元年度:参加人数359人] [令和2年度:参加人数389人][令和3年度:参加人数125人] [令和4年度:参加人数236人] ・ノルディック・ウォーキング教室 [平成29年度:参加人数1,554人][平成30年度:参加人数1,191人][令和元年度:参加人数1,263人][令和2年度:参加人数559人][令和3年度:参加人数221人][令和4年度:参加人数585人] ・ケーブルテレビによる家庭でできるストレッチ体操放送 [令和2年度～令和4年度]	スポーツ 推進委員
	②スポーツによる 自己の健康管理の意識付け	・京丹後チャレンジデー [令和元年度:参加率48.1%][令和3年度:参加率39.4%][令和4年度:参加率57.7%] ・防災行政無線によるラジオ体操放送 [令和2年度～令和4年度] ・市民陸上記録会の開催 [令和3年度:参加者68人][令和4年度:参加者96人] ・老人クラブ連合会網野支部による文科省「新体力テスト実施要項」の体力測定会を実施 [平成30年度～令和4年度]	実行委員会等
	③女性が楽しめる体力づくりの促進	・京丹後チャレンジデーによる取組（女性連絡協議会による「よさこい」「サザエさん体操」、（赤ちゃんと一緒に体幹体操）、（女性限定のスポーツ教室「ヨガ体験会」） [令和元年度～令和4年度（令和2年度は中止）] ・地域公民館事業 ①成人教育講座:「リフレッシュヨーガ講座」(大宮)[平成30年度:全10回:受講者125人][令和元年度:全7回:受講者108人] - 女性のための「健康づくり応援」講座（峰山・大宮合同）[令和4年度:参加者17人] 「ゆったりヨーガ講座」（大宮）[令和2年度:全6回:受講者68人][令和3年度:全5回:受講生44人][令和4年度:全10回:受講者125人] 「アグレッシブヨーガ講座」（大宮）[令和4年度:全5回:受講者72人]	生涯学習課・各地域公民館

	③女性 が楽しめ る体力 づくりの 促進	②家庭教育支援基盤形成事業:各地域家庭教育支援チーム [*] の取組（子育て広 場リズム体操、親子リフレッシュ体操等） [平成 30 年度:参加者 1,146 人][令和元年度:参加者 1,219 人][令和 2 年 度:参加者 813 人][令和 3 年度:参加者 659 人][令和 4 年度:参加者数 891 人]	生涯学習 課・各地域 公民館
(2) 高 齢者スポー ツの推進	①高齢 者の生 きがい・ 健康づく りの促進	・保健師による介護予防体操教室の実施と地区への継続支援 [平成 30 年度～令和 4 年度] ・出前講座（地区サロン [*] で運動教室）[平成 30 年度～令和 4 年度] ・サザエさん体操の紹介、実施[平成 30 年度～令和 4 年度] ・健康ウォーキングイベントの開催[平成 30 年度～令和 4 年度]	健康推進 課・健康づ くり推進員
	②高齢 者向け スポーツ の普及	・京丹後市グランドゴルフ交歓大会（参加者：192 名） [平成 31 年度] ・体育協会各支部で「グランド・ゴルフ大会」開催 [平成 30 年度～令和 4 年度] ・シニアスポーツ教室 ①グランドゴルフとペタンク [*] [平成 30 年度:参加者数 717 人][令和元年度:参加者数 745 人] ②グランドゴルフの講習及び大会 [*] [令和 2 年度:参加者数 526 人][令和 3 年度:参加者数 421 人][令和 4 年度: 参加者数延べ 863 人]	体育協会 （スポーツ 協会） 地域公民 館
	③高齢 者の社 会参加 の促進	・高齢者大学「楽しくできる認知予防体操」 [平成 30 年度:参加者数 57 人] ・高齢者大学教養講座（令和 4 年度） ①歩こう会[峰山:5 回参加者数 15 人][大宮:全 4 回参加者数延べ 50 人] ②グランドゴルフ講座[網野:24 回参加者数 34 人] ③山野草ウォーキング 1 講座[網野:6 回参加者数 14 人]山野草ウォーキング 2 講座[網野:6 回参加者数 14 人] ④スローエアロビック講座[丹後:6 回参加者数 77 人] ⑤男のストレッチ体操講座[丹後:5 回参加者数 30 人]⑤健康講座（歩こう会） [久美浜:4 回参加者数 76 人]	地域公民 館・スポーツ 推進委員
	①体力・ 運動機 能の向 上	・小中学校での体力テストの実施（対象：小学 5 年生、中学 2 年生）[平成 30 年度～令和 4 年度（令和 2 年度は中止）] ・子どもスポーツ推進事業（肘肩検診）等を実施した。 [平成 30 年度、令和元年度] ・青少年スポーツ協会設立[令和 2 年度] ・青少年スポーツ教室の活動 [平成 30 年度:20 種目:67 教室:指導者 381 人:参加児童数 1534 人][令和	学校教育 課 青少年 スポーツ 協会

(3) 子どものスポーツ 機会の充実	①体力・ 運動機 能の向 上	元年度:20 種目:66 教室:指導者 372 人:参加児童数 1493 人][令和 2 年 度:20 種目:66 教室:指導者 345 人:参加児童数 1355 人][令和 3 年度:20 種目:65 教室:指導者 353 人:参加児童数 1345 人][令和 4 年度:20 種 目:64 教室:指導者 349 人:参加児童数 1282 人] ・青少年スポーツ教室生徒募集チラシの発行[平成 30 年度～令和 4 年度] ・京丹後市ケーブルテレビを通じた広報活動を実施（撮影希望団体: 8 団体） [令和 4 年度]	青少年 スポーツ 協会
	②学校 体育との 連携	・各小中学校:運動会、体育祭、運動部活動他 ・小学校プール	各学校
		・京都サンガ F. C. ふれあいサッカー教室開催（小学生低学年対象、参加者 数: 70 人）[令和 3 年度]	青少年 スポーツ 協会
		・市長杯争奪中学校野球大会開催 [平成 30 年度:市内 6 校][令和元年度:市内 6 校][令和 2 年度:市内 5 校][令 和 3 年度:市内 5 校][令和 4 年度:市内 5 校] ・はしうど杯卓球選手権大会開催 [平成 30 年度:参加者数 113 人][令和元年度:参加者数 105 人][令和 2 年 度:参加者数 90 人][令和 3 年度:参加者数 100 人][令和 4 年度:参加者数 98 人] ・ジュニアカヌースプリント春季大会開催 [平成 30 年度:中止][令和元年度:参加者数 37 人][令和 2 年度:中止][令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 39 人] ・ジュニアカヌースプリント秋季大会開催 [平成 30 年度:参加者数 37 人][令和元年度:参加者数 38 人][令和 2 年度: 参加者数 25 人][令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 37 人] ・北近畿中学生ソフトテニス大会開催 [平成 30 年度:参加校 17 校、92 ペア][令和元年度:参加校 14 校、78 ペ ア][令和 4 年度:参加校 11 校、60 ペア]	生涯学習 課・体育協 会（スポー ツ協会）
	③スポー ツ教育 の推進	・野村克也杯学童野球大会開催[平成 30 年度～令和 4 年度（令和 2 年度中 止）] ・野村克也メモリアル事業「ドリームベースボール（野球教室・試合）」を開催[令和 4 年度] ・国の方針により部活動地域移行に係る情報収集、情報提供や今後の進め方の 検討[令和 4 年度] ・青少年スポーツ協会による各教室の実態や必要な取組について把握するため、毎 年アンケートを実施[平成 30 年度～令和 4 年度] ・全国大会出場激励会の開催及び出場激励金の交付 [平成 30 年度～令和 4	実行委員 会・生涯学 習課・ 青少年 スポーツ協 会

		年度] ・子どもスポーツ推進事業（肘肩検診）等の実施[平成 30 年度、令和元年度] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターのリニューアル整備[令和 2 年度]	
(4) 身近にスポーツを親しむ環境づくり	①魅力あるスポーツ事業の創出	・各地区競技大会 ＜峰山町＞ 町民ソフトテニス大会、グランドゴルフ春季大会、ゲートボールさつき杯大会、峰山町スポーツ祭典、市長杯ゴルフ大会、上山杯兼絆杯柔道大会、グランドゴルフ秋季大会 ＜大宮町＞ 春季ゲートボール大会、大宮町民ゴルフ大会、前期ソフトバレーボール大会、町民グランドゴルフ大会、バドミントン大会、大宮町体育大会、前期バレーボール大会、ソフトテニス大会、一般男子ソフトボール大会、軟式野球選手権大会、支部長杯ゴルフ大会、親善ゲートボール大会、ミックスダブルステニス大会、親善卓球大会、後期ソフトバレーボール大会、一周駅伝競走大会、後期バレーボール大会、男子地区対抗バレーボール大会、家庭婦人地区対抗バレーボール大会 ＜網野町＞ グランドゴルフ大会、テニス教室・大会、野球大会、バドミントン教室、八丁浜ランニング DAY、オープンフットサル大会、町民バスケットボール大会、あみの八丁浜ロードレース大会 ＜丹後町＞ 地区対抗ソフトボール大会、町内優勝野球（盆野球）、支部長杯グランドゴルフ大会、地区対抗駅伝競走大会、地区対抗ゲートボール大会 ＜弥栄町＞ 地区対抗野球大会、弥栄町バスケットボール大会、地区対抗卓球大会、グランドゴルフ春季大会・秋季大会、地区対抗ソフトボール大会、ゲートボール選手権大会、ソフトバレーボール夏の大会・冬の大会 ＜久美浜＞ 春季グランドゴルフ大会、ゲートボール春季・秋季選手大会、春季・秋季ソフトボール選手権大会、レディスグランドゴルフ交流大会、旧村対抗ゴルフ大会、町民グランドゴルフ交流大会、町内バレーボール大会、町内バスケットボール大会、新春初打ゲートボール ・SUP 大会に合わせ体験会を開催[令和元年度～令和 4 年度] ・京丹後市総合体育大会を開催 [平成 30 年度～令和 4 年度] ・京丹後チャレンジャーの開催やノルディックウォーキング教室、ニュースポーツ教室の開催（再掲） ・公共体育施設市民無料開放の実施[令和 2 年 8 月～令和 5 年 3 月末まで]	体育協会（スポーツ協会）・スポーツ推進委員等

	②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援	・総合型地域スポーツクラブ [※] による各種活動（京都府登録団体：3 団体：久美浜、網野、三遊）	各総合型地域スポーツクラブ
	③障害者のスポーツ活動の推進	・視覚障害者交流研修会（カローリング）開催[令和 3 年度：視覚障害者 9 人][令和 4 年度：視覚障害者 13 人] ・障害者スポーツ事業講演会開催「共生社会[※]（配慮はするけど遠慮はしない）を実現するため」（パラソウル大会陸上金メダリスト：永尾由美氏）[平成 30 年度：来場者 1 1 0 人] ・スポーツのバリアフリー講習会開催「パラスポーツの魅力と可能性-共生社会[※]の実現に向け-」（大阪体育大高橋教授）[令和元年度：参加者数 54 人] ・パラスポーツ体験会開催（内容：車いす競技（バスケット、ソフトボール、アメリカンフットボール）やボッチャ体験会などのパラスポーツを体験した、講師：坂根泰子氏（アテネオリンピック日本代表））[令和 2 年度][令和 3 年度：参加者数 76 人][令和 4 年度：参加者数：50 人] ・パラスポーツ講演会開催（内容：「あきらめたことをあきらめない」講師：辰巳博美氏（東京パラリンピックカヌー日本代表））[令和 4 年度：参加者数 50 人] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターの整備（誰もが競技ができる環境）[令和 2 年度]	スポーツ推進委員・体育協会（スポーツ協会）・生涯学習課

＜基本目標 2＞スポーツ競技力の向上

取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体
(1) 競技力の向上	①ホストタウンの取組と国際大会の開催	・東京 2020 オリンピックホストタウン[※]として、カヌー競技の事前合宿を久美浜湾カヌー競技場で受入実施。（スペイン：17 人、ポルトガル：11 人、7 月 18 日～7 月 28 日の 11 日間）。[令和 3 年度] ・令和元年 5 月、ワールドマスターズゲームズ（以下「WMG」）実行委員会を設立し、WMG2021 関西に向けた取組を開始。 ・WMG2021 関西プレ大会（SUP 大会及び無料体験会、カヌーマラソン）開催[令和 2 年度：参加者数 89 人、令和 3 年度（カヌーマラソンは中止）、令和 4 年度：参加者数 97 人]※WMG 関西本大会は 2027 年に延期	生涯学習課・実行委員会
	②ジュニアアスリートの養成	・子どもスポーツ推進事業[令和元年度：「メンタルトレーニング[※]から学ぶアスリート育成及び子育て講演会] ・青少年スポーツ協会設立[令和 2 年度] ・青少年スポーツ協会加盟団体[令和 2 年度：66 団体、参加児童数 1,355 人][令和 3 年度：65 団体、参加児童数 1,345 人][令和 4 年度：64 団体、参加児童数 1,282 人]	青少年スポーツ協会他 青少年スポーツ協会他

(1) 競技力の向上	②ジュニアアスリートの養成	・令和4年度大会等 丹後小学生陸上競技大会・塩見杯争奪体操競技、新体操大会・市長杯争奪学童大会少年野球・京都府剣道道場連盟丹後地区少年剣道錬成大会・マルハンカップ学童野球大会・京都サンガFCビーチサッカーフェスタ2022 in 網野・京丹後ボーイズ親善大会・中野真理子杯京丹后市小学生バレーボール大会・丹後中央ライオンズクラブ小学生バレーボール大会・JFA キッズ&レディース/ガールズ サッカーフェスティバル・京丹后市少年剣道大会（杉本杯）・京都府北部小学生クラブ陸上記録会・網野カップ少年サッカー大会・平野杯少年少女学童野球大会・京丹后市小学生バレーボール大会4・5・6年生の部・マルハンカップ学童野球大会・海の京都 KIDS・U-13 陸上競技大会・北丹駅伝競走大会	
	③学校部活動からの競技力の向上	・市長杯争奪中学生野球大会や北近畿中学生ソフトテニス大会、はしうど杯卓球選手権大会、カヌースプリント春季・秋季大会を開催（再掲） ・野村克也メモリアル事業（野球教室（参加者59人）及び講演会（300人）の開催[令和3年度] ・中学校部活動への部活動指導員の配置 ・部活動地域移行の検討[令和4年度]（再掲）	生涯学習課等
		・京丹后市総合体育大会[平成29年度～令和4年度（令和2年度は代替大会（7競技）、令和3年度中止）] ・府民総体[平成29年度～令和4年度（令和2年度は未実施、令和3年度は交流大会（5競技中止））] [15競技団体]：テニス競技（マスターズ大会）、グラウンドゴルフ競技（マスターズ大会）、バスケットボール競技、ソフトボール競技（男女）（マスターズ大会（男女））、ゲートボール競技（マスターズ大会）、ソフトテニス競技（マスターズ大会）、軟式野球競技（マスターズ大会）、陸上競技（マスターズ大会）、ソフトバレーボール競技、ボウリング競技、ゴルフ競技、サッカー競技（マスターズ大会）、バドミントン競技（マスターズ大会）、バレーボール競技（男女）、駅伝競走競技 ・体育協会の法人化による組織強化 [令和4年度～一般社団法人スポーツ協会]	体育協会（スポーツ協会）
(2) 指導者の育成・確保	①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実	・青少年スポーツ協会設立[令和2年度]（再掲） ・スポーツ指導者研修会を年2回開催 ①「ケガをしない心体づくり」「欲張りエクササイズ」[令和元年、令和2年度、令和4年度] ②「かんたん体幹トレーニング」[平成30年度] ③「予防、再発予防テーピング」[令和元年度、令和3年度] ④「正しく恐れる新型コロナウイルス感染症」、[令和2年度] ⑤「スロートレーニング」[令和3年度]	体育協会（スポーツ協会）・青少年スポーツ協会

(2) 指導者の育成・確保	①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実	・「指導者研修会」開催 ①「少年野球を取り巻く課題と今後のあり方」[平成 30 年度] ②「京丹後の子ども達『怪我予防』と『リハビリ』について 参加者数:41 人[令和 2 年度] ③「子ども達のパフォーマンスを発揮するためのメンタルトレーニング [*] 」参加者数: 42 人 [令和 4 年度] ・普通救命講習会の開催: 参加者 21 人[令和 4 年度] ・体育協会の法人化による組織強化 [令和 4 年度～一般社団法人スポーツ協会] (再掲)	体育協会 (スポーツ協会)・青少年スポーツ協会
	②指導力の向上	・「スポーツ指導者への指導方法」講習会開催[平成 29 年度] ・「指導者におけるリーダーシップ」講演会開催 (講師:立命館大学山浦教授) 参加者数:31 人[令和 3 年度] ・スポーツジュニア食育講習会開催 (内容:スポーツを頑張る子ども達の身体づくり、食事作りについて、対象:スポーツ指導者、保護者等) 参加者数:15 人[令和 3 年度]、参加者数:30 人[令和 4 年度]	体育協会 (スポーツ協会)・青少年スポーツ協会
	③スポーツ推進委員の活動ならびに資質の向上	・スポーツ推進委員による各種研究大会へ参加。[平成 29 年度～令和 4 年度 (令和 3 年度、令和 2 年度除く)] ・地区活動や PTA 行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導の実施[平成 29 年度～令和 4 年度 (令和 3 年度、令和 2 年度除く)]	スポーツ推進委員

＜基本目標 3＞スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実

取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体
(1) 身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実	①社会体育用学校開放施設事業の推進	・市民の身近な施設である学校体育施設 (体育館、グラウンド) の開放及び維持管理。[R4 現在: 小学校 17 校、中学校 6 校] ・公共体育施設市民無料開放の実施[令和 2 年 8 月～令和 5 年 3 月末まで]	生涯学習課
	②社会体育施設の配置と利用サービスの向上	・スポーツ活動の拠点施設として社会体育施設を維持管理。[R4 現在:41 施設] ・公共体育施設市民無料開放の実施[令和 2 年 8 月～令和 5 年 3 月末まで] ・競技団体や地域の理解のもと、利用が少ない社会体育施設 (12 施設) を廃止。[平成 30 年度、令和 3 年度] ・現行の「京都府・市町村共同公共案内予約システム」に変わる、より利便性の高い新システムの導入検討 [R4 年度]	生涯学習課
		・京丹後はごろも陸上競技場を日本陸連第 3 種公認競技場としリニューアル整	

(1) 身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実	③スポーツしやすい環境の整備	備。[平成 30 年度～令和 2 年度] ・久美浜湾カヌー競技場 1000m コース整備[令和元年] ・久美浜湾カヌーセンター整備（カヌー艇庫のほか多目的トイレや車いす対応のシャワー室等完備）[令和 2 年度] ・社会体育館照明の LED 化（大宮社会体育館、網野体育センター、丹後社会体育館、弥栄総合運動公園社会体育館）[令和 4 年度]	生涯学習課
(2) スポーツ施設等の管理運営	①管理運営体制の強化	・峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園・八丁浜シーサイドパーク：指定管理者制度による民間団体による管理運営 ・久美浜湾カヌーセンター：久美浜カヌークラブに委託管理	生涯学習課 ・指定管理者
	②スポーツ施設予約システムの充実	・現行の「京都府・市町村共同公共案内予約システム」に変わる、より利便性の高い新システムの導入検討 [R4 年度] ・観光関係者や競技団体等と連携したスポーツ合宿の誘致[令和 4 年度:9 施設(9 団体 17 日 408 人)]	生涯学習課
	③競技系専門施設の利活用の促進	・京丹後はごろも陸上競技場を日本陸連第 3 種公認競技場としリニューアル整備。[平成 30 年度～令和 2 年度] ・久美浜湾カヌー競技場 1000m コース整備[令和元年度] ・久美浜湾カヌーセンター整備（カヌー艇庫のほか多目的トイレや車いす対応のシャワー室等完備）[令和 2 年度] ・京丹後はごろも陸上競技場で 7 大会、久美浜湾カヌー競技場で 6 大会、計 13 大会を新たに誘致。	生涯学習課等

<基本目標 4> スポーツ観光のまちづくり

取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体
(1) 滞在型スポーツ観光の促進	①スポーツイベントやアクティビティの活用	・100 km ウルトラマラソン開催[平成 30 年度:参加者数 3,392 人][令和元年度:参加者数 3,340 人][令和 2 年度、令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 2,189 人] ・ドラゴンカヌー選手権大会[平成 30 年度:参加者数 1,092 人][令和元年度:参加者数 1,008 人][令和 2 年度、令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 540 人] ・関西学生対校駅伝競走大会[平成 30 年度:参加者数 444 人][令和元年度:参加者数 384 人][令和 2 年度、令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 192 人] ・関西の学生ランナーが全国から注目していただける環境づくりを支援するため、読売テレビによる地上波でのテレビ放送を実施。視聴率 1.9%[令和 2 年度][令和 3	実行委員会 ・体育協会 （スポーツ協会）

(1) 滞在型スポーツ観光の促進	①スポーツイベントやアクティビティの活用	年度][令和4年度] ・TANTAN 〇ンゲライト[平成30年度:参加者数1,745人][令和元年度:参加者数1,784人][令和2年度、令和3年度、令和4年度:中止] ・久美浜湾一周駅伝[平成30年度:参加者数444人][令和元年度:参加者数384人][令和2年度、令和3年度:中止][令和4年度:参加者数192人] ・あみの八丁浜ロードレース大会[平成30年度:参加者数548人][令和元年度:参加者数500人][令和2年度、令和3年度:中止]	実行委員会 ・体育協会（スポーツ協会）
	②外国との交流を進めるホストタウンへの取組	・東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、ドイツカヌー代表チーム（選手6・コーチ2）のトレーニングキャンプ（10月）を受入れ、また、合宿候補地として、各国の視察を受入れた。[平成30年度] ・ホストタウン推進事業として、韓国ソリョン高校、韓国カヌー連盟との交流。[平成30年度]	生涯学習課
		・スポーツイベント開催による宿泊促進	観光公社
(2) スポーツ観光の情報発信	①スポーツ観光の情報発信	・広域連携によるメリットを活かした情報発信（SNS等）を実施。（海の京都 DM※O、市観光公社等）	観光公社
	②競技スポーツ情報の提供	・広報誌「たいきょう ひとつとこむ」を年3回発行	体育協会（スポーツ協会）
		・スポーツイベントを通じて、本市の魅力発信に繋げた。（市広報誌「KYOTANGO SPORTS」、SNS等）※	生涯学習課
(3) 交流促進	①スポーツを通じた交流促進	・東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、ドイツカヌー代表チーム（選手6・コーチ2）のトレーニングキャンプ（10月）を受入れ、また、合宿候補地として、各国の視察を受入れた。[平成30年度]（再掲） ・ホストタウン推進事業として、韓国ソリョン高校、韓国カヌー連盟との交流。[平成30年度]（再掲） ・WMG2021 関西におけるカヌーマラソン競技会場として、スペインチームの事前合宿地候補として、国際カヌー連盟会長（スペインカヌー連盟会長）の視察を受入れた。[平成30年度] ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、2月にはスペインカヌーチーム代表監督の事前視察（2/10～2/13）を受入れたが、コロナによりオリンピックが延期となった。[令和元年度] ・「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」に向けたテストイベントとして全国で初めてとなる高校生カヌーの長距離全国大会を誘致し開催。[令和2年度] ・WMG2021 関西は、当初令和3年5月の開催であったが、コロナの影響により、令和8年5月に延期	生涯学習課

(3) 交流促進	①スポーツを通じた交流促進	・網野スポーツクラブによるスポーツイベント（サッカー大会等）の開催[平成 30 年度:宿泊者数 3,086 人][令和元年度:参加者数 2,882 人][令和 2 年度:参加者数 70 人][令和 3 年度:参加者数 1,706 人][令和 4 年度:参加者数 3,240 人]	生涯学習課
	②スポーツにおける広域連携	・外国人受け入れ体制強化:外国語セミナー（英語:成人 14 人）（キッズ 28 人）（英語落語約 30 人）（韓国語は 6 人）を実施。[平成 30 年度] ・途中ヶ丘陸上競技場のリニューアル後、陸上競技選手権大会等新たな大会を誘致できた[令和 3 年度:5 大会、令和 4 年度:3 大会] ・カヌーセンターの整備と合わせ SUP 等の大会を誘致（令和 2 年度～） ・カヌー関連の大会誘致:R3 はコロナの影響があり 3 大会で 650 人。R4 年度は、5 大会で 3,178 人 ・合宿誘致による社会体育施設の合宿利用は減少[平成 30 年度:6 施設（27 団体 89 日 1,316 人）][令和元年度:4 施設（14 団体 40 日 565 人）][令和 2 年度:4 施設（4 団体 7 日 110 人）][令和 3 年度:3 施設（3 団体 4 日 93 人）][令和 4 年度:9 施設（9 団体 17 日 408 人）]	生涯学習課
	③スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進	・教育委員会部局と市長部局に分かれていた社会体育、スポーツ大会を所管する部署を一本化するため、平成 30 年 4 月に教育委員会内に「スポーツ推進室」を設置。 ・ワールドマスタースゲームズのブレ大会を実施（知名度向上と機運醸成に向けた取組を展開）[平成 30 年度～令和 4 年度]	生涯学習課

スポーツに関する市民意識調査結果

(1) 調査の目的

この調査は、平成29年度に策定した第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直しにあたり、その基礎資料とするために、市民のスポーツの活動状況や、スポーツに対する意向などを把握することを目的に、現状の課題などについて市民に対しアンケート形式で調査を実施しました。

(2) 調査の項目

- 健康状態について
- スポーツに関するボランティア活動について
- スポーツに関する情報について
- 回答者自身について
- 総括
- 運動やスポーツの実施状況について
- 京丹後市のスポーツ施策について
- 現在の子どもを取り巻く環境について
- 自由意見

(3) 調査設計

- ・ 調査地域：市内全域
- ・ 調査対象：市内に在住する18歳～79歳の市民
- ・ 標本数：2,000人
- ・ 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ・ 調査方法：郵送配布、郵送回収による調査
- ・ 調査期間：令和4年9月22日～令和4年11月11日

(4) 回収状況

調査対象者数	回収件数(率)	有効回収件数(率)
2,000人	1,021件(51.1%)	1,620件(51.0%)

(5) 調査結果の見方

- 本文中および図中に示した集計結果は、その質問の回答者数を基数(N)として算出し、百分率(%)で示しています。
- 集計結果は小数点第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。また、グラフには「MA%」(複数回答)を付記しています。
- 図では、コンピュータの都合上、回答選択を短縮して記載している場合があります。
- 本文中にある「過去調査」とは、平成24年度及び平成28年度に実施した「京丹後市スポーツ推進計画見直しに関するアンケート調査」をさします。

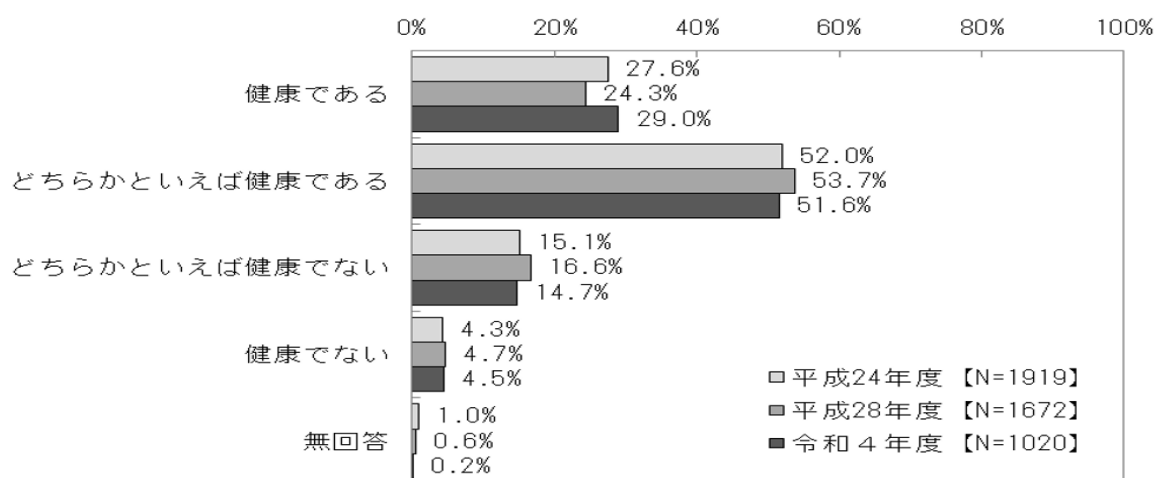
①健康について

○健康について感じていることは、「どちらかといえば健康である」が**51.6%**と最も多く、次いで「健康である」が**29.0%**、「どちらかといえば健康でない」が**14.7%**、「健康でない」が**4.5%**となっています。

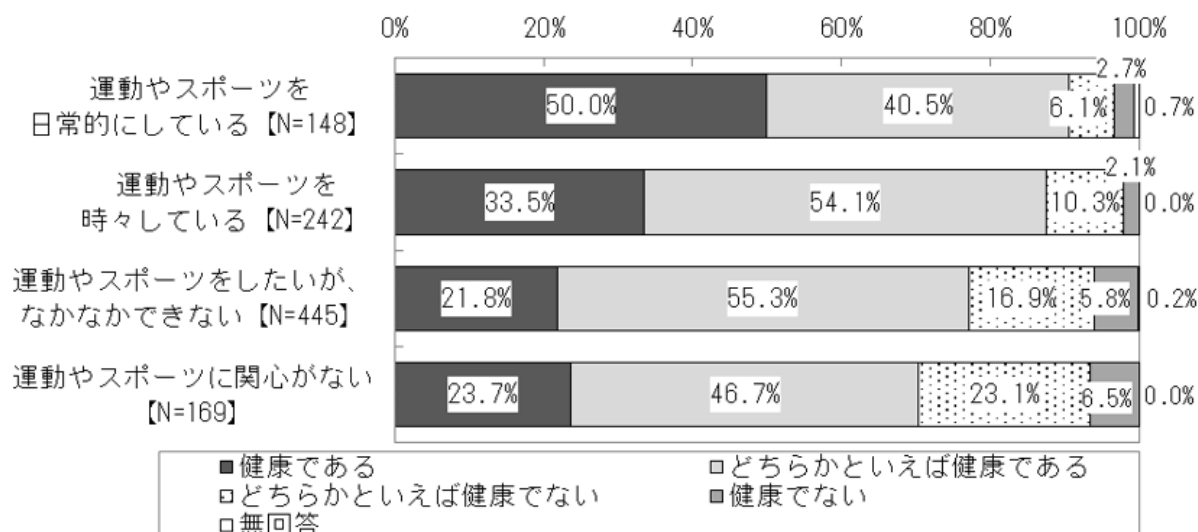
○健康について感じていることを、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合（『健康である』）が多くなっています。

○前回調査と比較すると『健康である』の割合は**4.7%増加**しています。

健康について感じていること



健康について感じていること/運動やスポーツの取り組み方

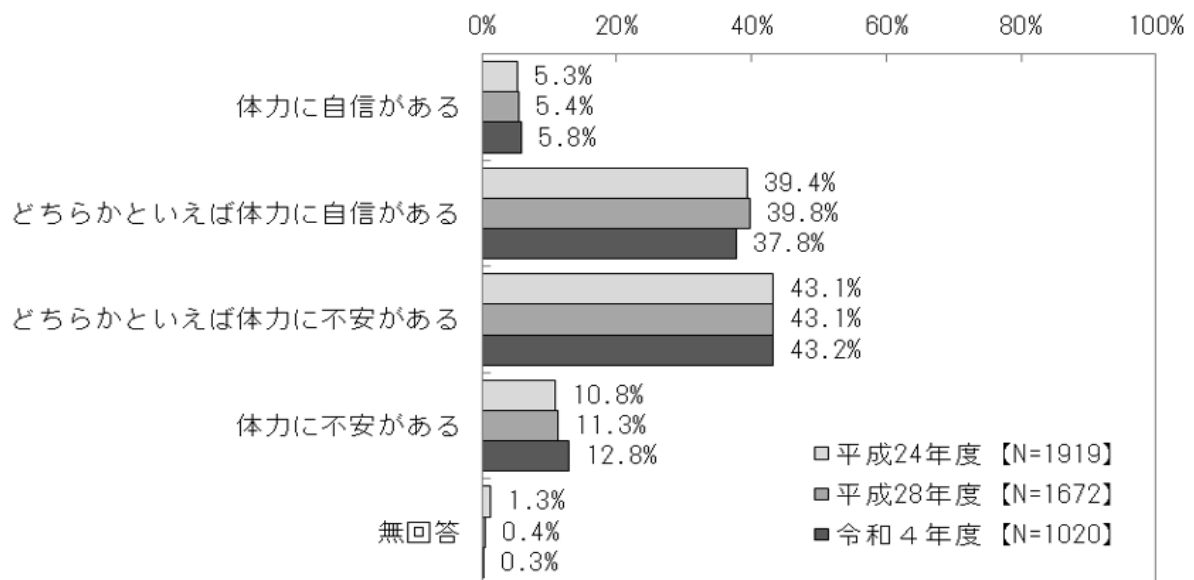


○体力について感じていることは、「どちらかといえば体力に不安がある」が **43.2%**と最も多く、次いで「どちらかといえば体力に自信がある」が **37.8%**、「体力に不安がある」が **12.8%**、「体力に自信がある」が **5.8%**となっています。

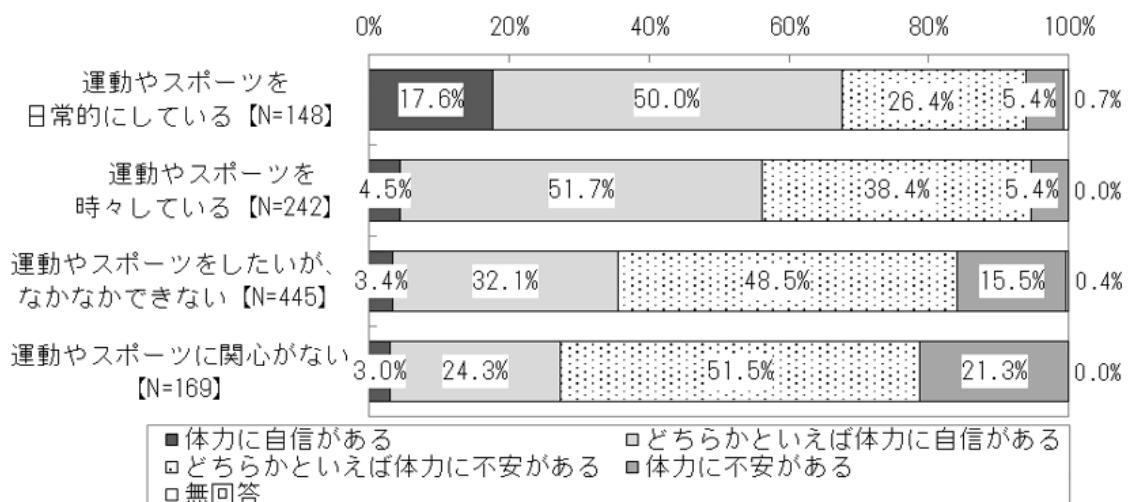
○体力について感じることを、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど、「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた割合(『**体力に自信がある**』)が多くなっています。

○前回調査と比較すると、『**体力に自信がある**』はわずかに増加していますが、『**体力に不安がある**』も増加しています。

体力について感じていること



体力について感じていること/運動やスポーツの取り組み方

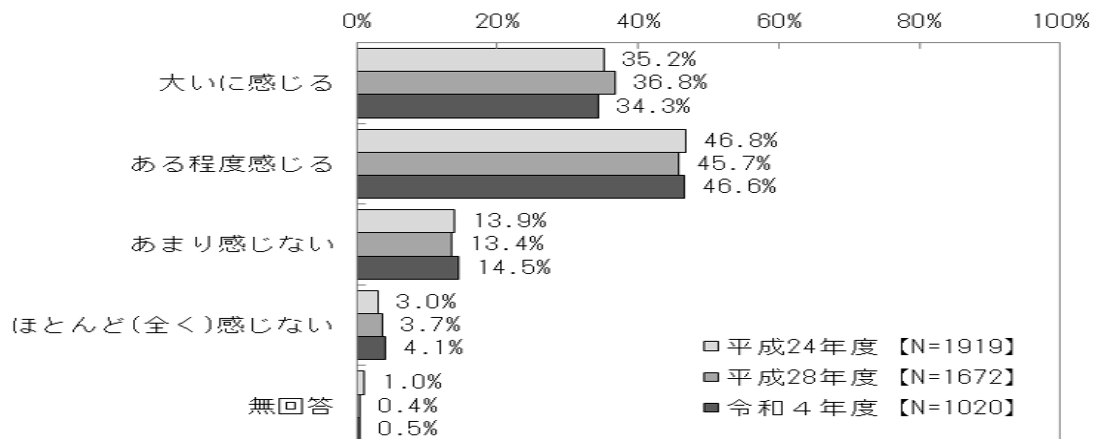


○運動不足を感じているかどうかは、「ある程度感じる」が **46.6%**と最も多く、次いで「大いに感じる」が **34.3%**、「あまり感じない」が **14.5%**、「ほとんど(全く)感じない」が **4.1%**となっています。

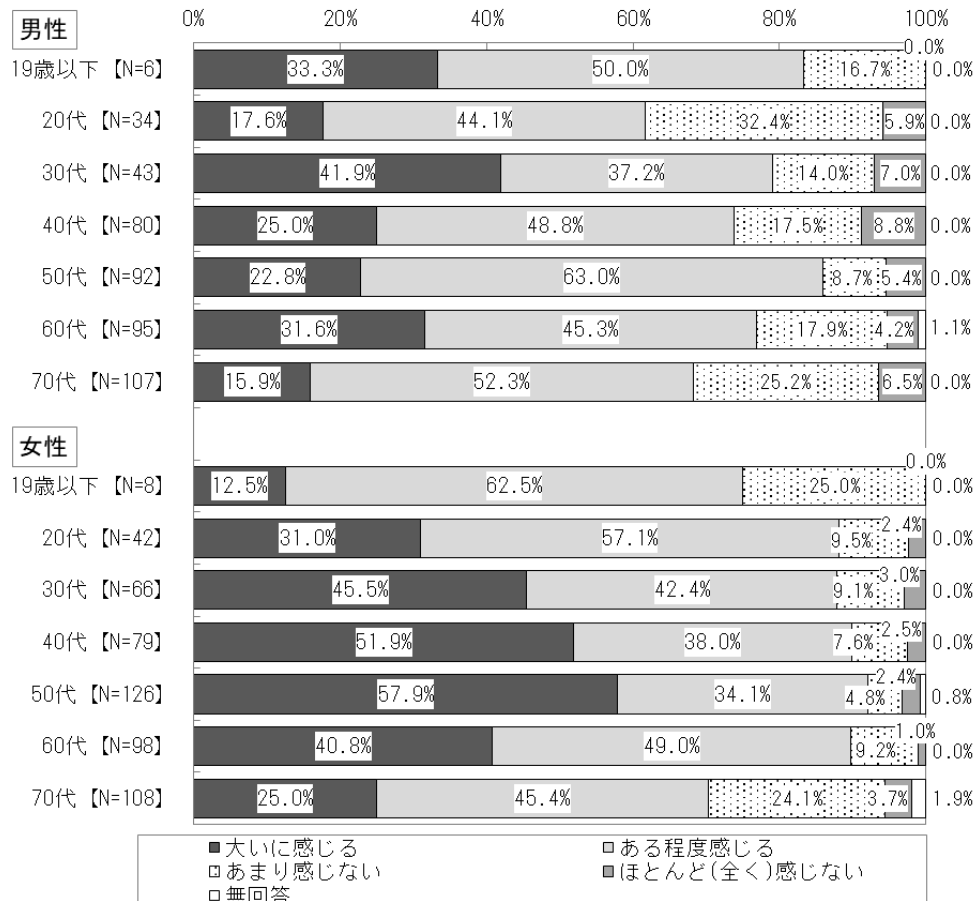
○運動不足を感じていることを、男女別・年代別にみると、「大いに感じる」は、男性では **30代が最も多く**、女性では **50代が約6割に上っています**。

○前回調査と比較すると、「大いに感じる」はわずかに**減少**しています。

運動不足を感じているか



運動不足を感じているか/男女別・年代別

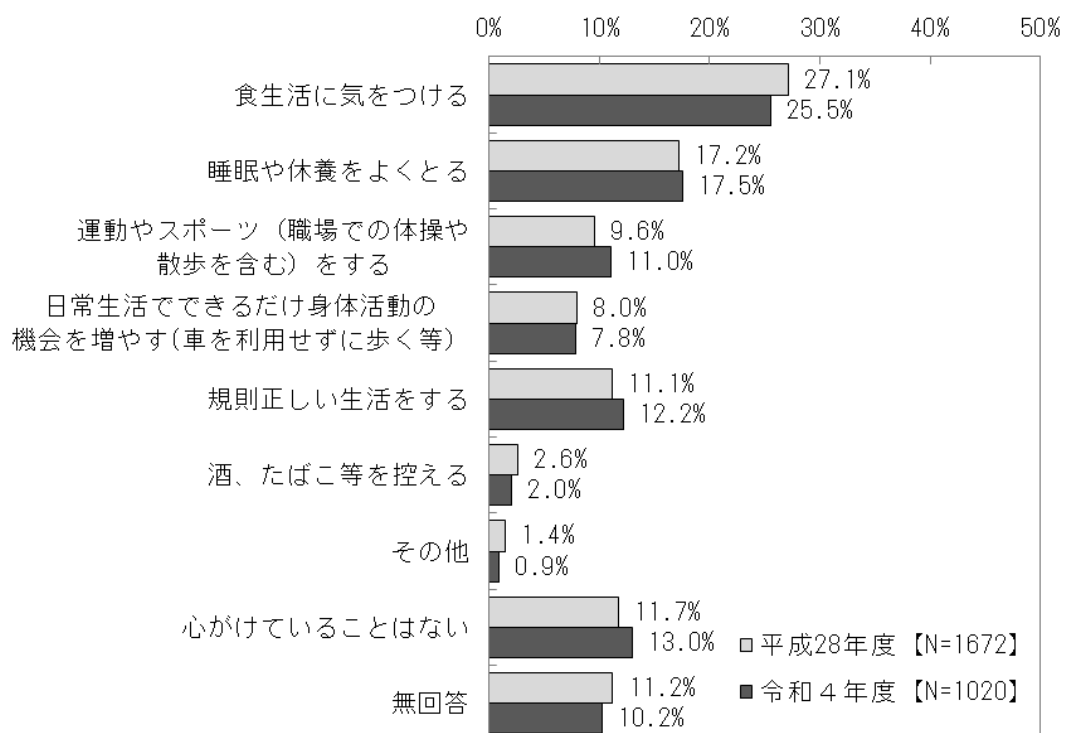


○健康管理や体力の保持増進のために、心がけていることは、「食生活に気をつける」が **25.5%**と最も多く、次いで「睡眠や休養をよくとる」が **17.5%**、「心がけていることはない」が **13.0%**などとなっています。「運動やスポーツをする」は **11.0%**にとどまっています。

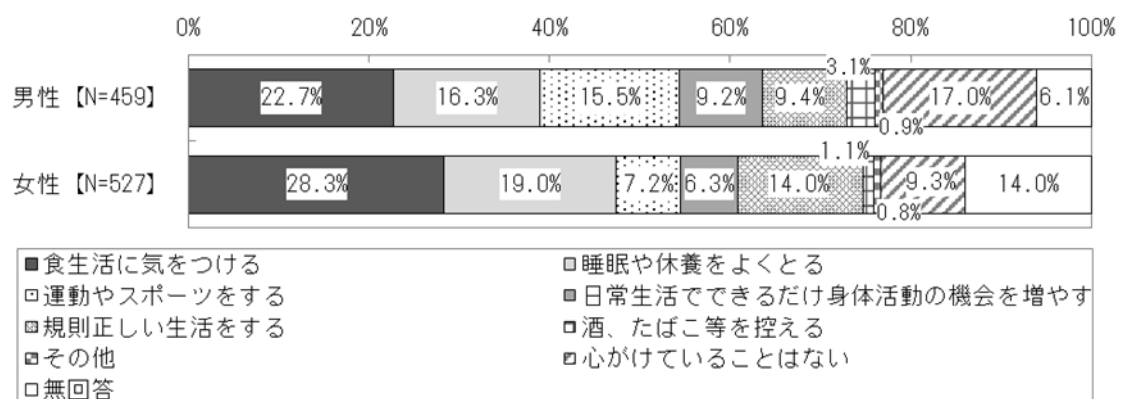
○前回調査と比較すると、「食生活に気をつける」は減少し、「運動やスポーツ(職場での体操や散歩を含む)をする」がわずかに増加しています。

○健康管理や体力の保持増進のために心がけていることを、男女別にみると、男女ともに「食生活に気をつける」が最も多く、特に女性は約3割を占めています。男性は女性より「運動やスポーツをする」の割合が高く、約2倍となっています。

健康管理や体力の保持増進のために心がけていること

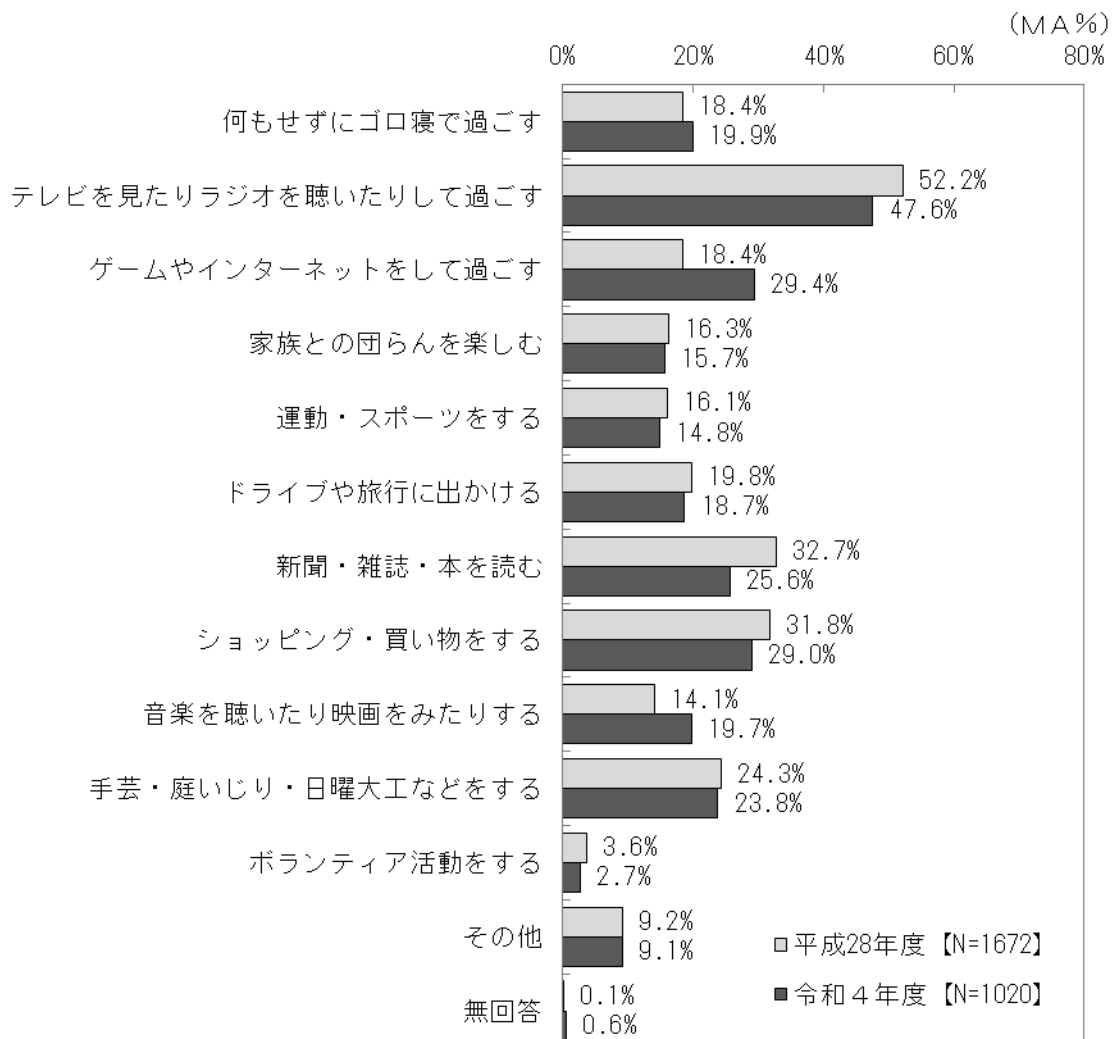


健康管理や体力の保持増進のために心がけていること/性別



- 好きなことができる時間の過ごし方は、「テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす」が **47.6%**と最も多く、次いで「**ゲームやインターネットをして過ごす**」が **29.4%**、「**ショッピング・買い物をする**」が **29.0%**などで、「運動・スポーツをする」は **14.8%**と他の回答項目と比べても低い数値となっています。
- 前回調査と比較すると、「運動・スポーツをする」は減少し、「**ゲームやインターネットをして過ごす**」が大きく伸びています。

好きなことができる時間の過ごし方



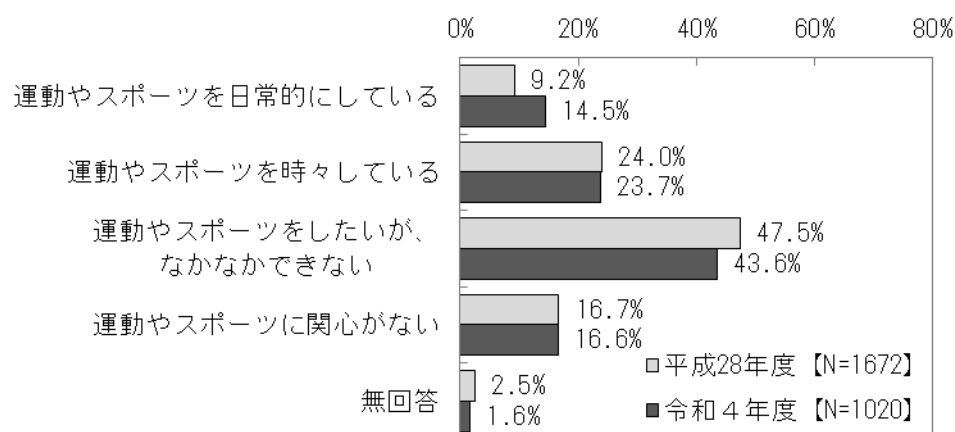
②運動やスポーツの実施状況について

○運動やスポーツの取り組み方は、「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」が **43.6%**と最も多く、次いで「運動やスポーツを時々している」が **23.7%**、「運動やスポーツに関心がない」が **16.6%**、「運動やスポーツを日常的にしている」が **14.5%**となっています。

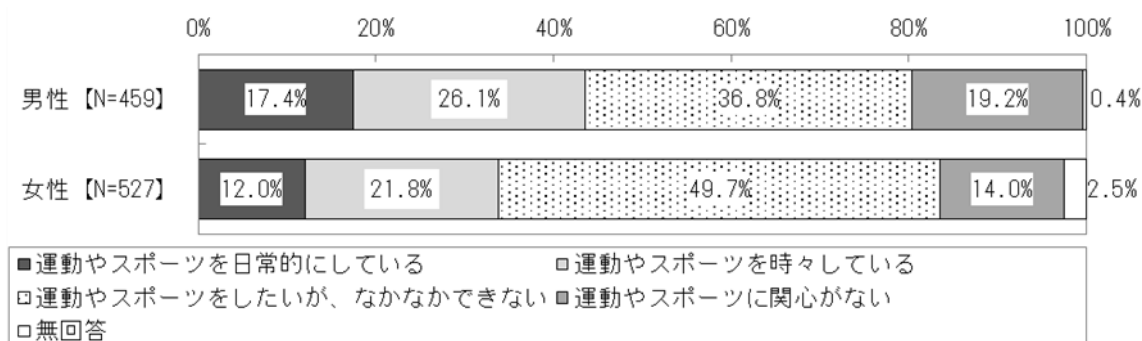
○前回調査と比較すると、「運動やスポーツを日常的にしている」が増加し、「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」が減少しています。

○運動やスポーツの取り組み方を、男女別にみると、「運動やスポーツを日常的にしている」と「運動やスポーツを時々している」を合わせた割合（『運動やスポーツをしている』）は、男性が **43.5%**、女性が **33.8%**で、女性は、「運動やスポーツをしたいがなかなかできない」が **49.7%**と高い割合となっています。

運動やスポーツの取り組み方



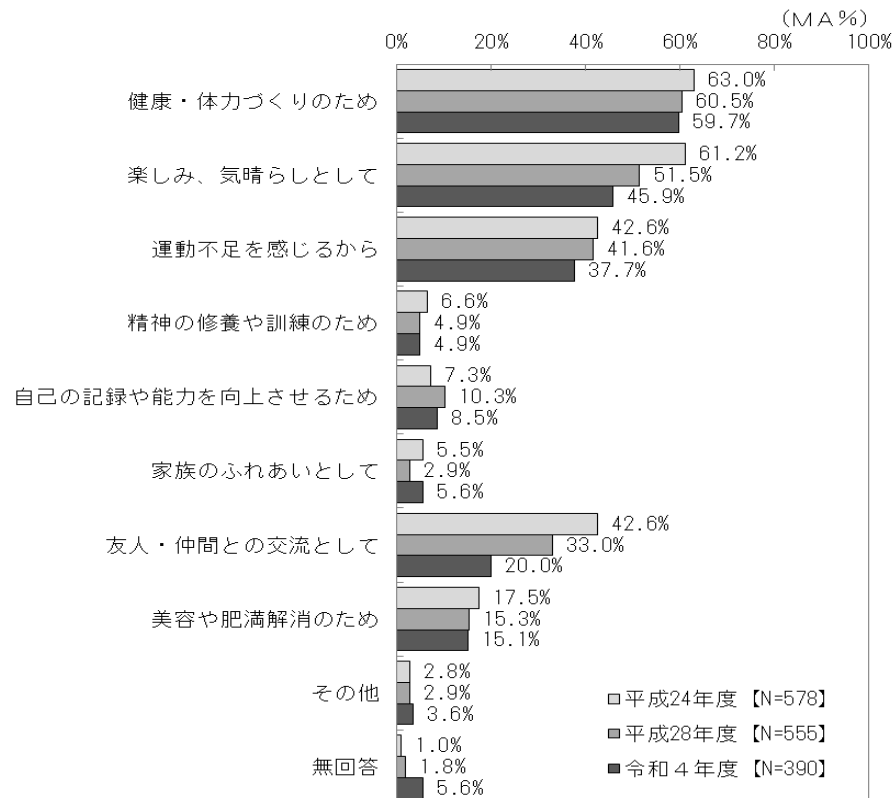
運動やスポーツの取り組み方/性別



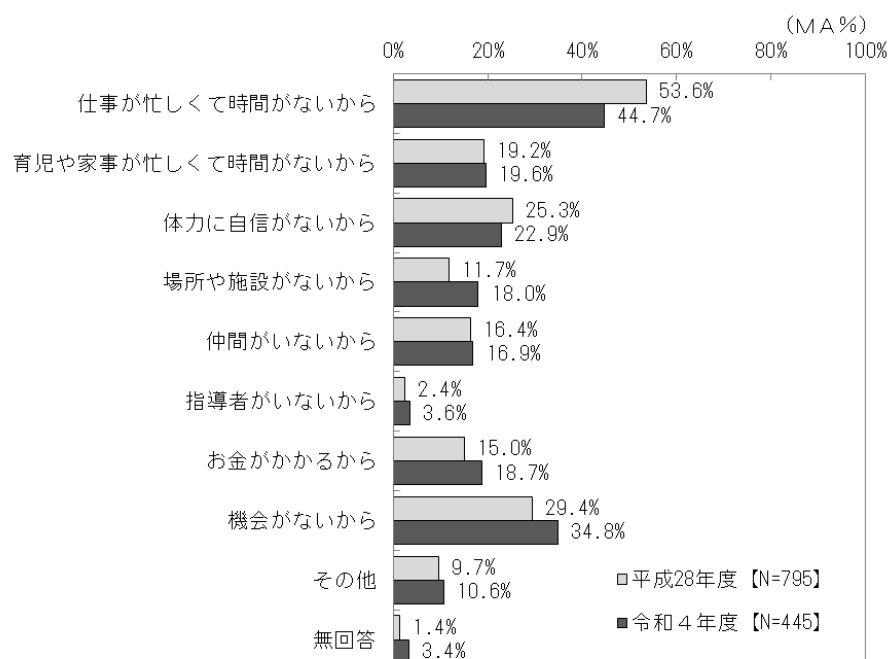
○運動やスポーツをしている理由は、「健康・体力づくりのため」が **59.7%**と最も多く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が **45.9%**、「運動不足を感じるから」が **37.7%**などとなっています。

○運動やスポーツをしたいが、できない理由は、「仕事が忙しくて時間がないから」が **44.7%**と最も多く、次いで「機会がないから」が **34.8%**、「体力に自信がないから」が **22.9%**などとなっています。

運動やスポーツを行っている方に理由を聞きました



運動やスポーツができない方に理由を聞きました



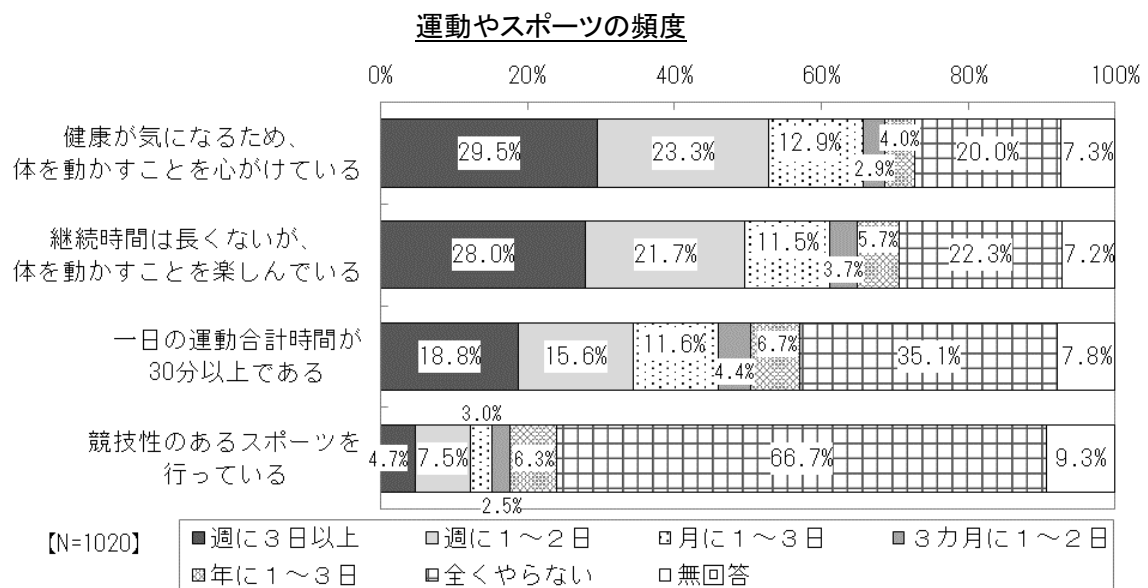
○健康が気になるため、体を動かすことを心がけている頻度は、「週3日以上」が **29.5%**と最も多くなっています。『週に1日以上』は **52.8%**となっています。

○継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる頻度は、「週3日以上」が **28.0%**と最も多くなっています。『週に1日以上』は **49.7%**となっています。

○一日の運動合計時間が30分以上である頻度は、「全くやらない」が **35.1%**と最も多くなっています。『週に1日以上』は **34.4%**となっています。

○競技性のあるスポーツを行なっている頻度は、「全くやらない」が **66.7%**と最も多くなっています。『週に1日以上』は **12.2%**となっています。

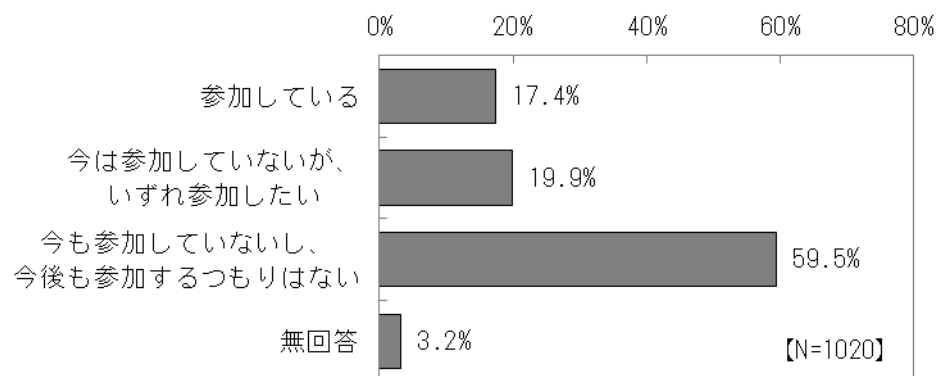
※『週に1日以上』とは「週3日以上」と「週に1～2日」を合わせた割合のことをさす



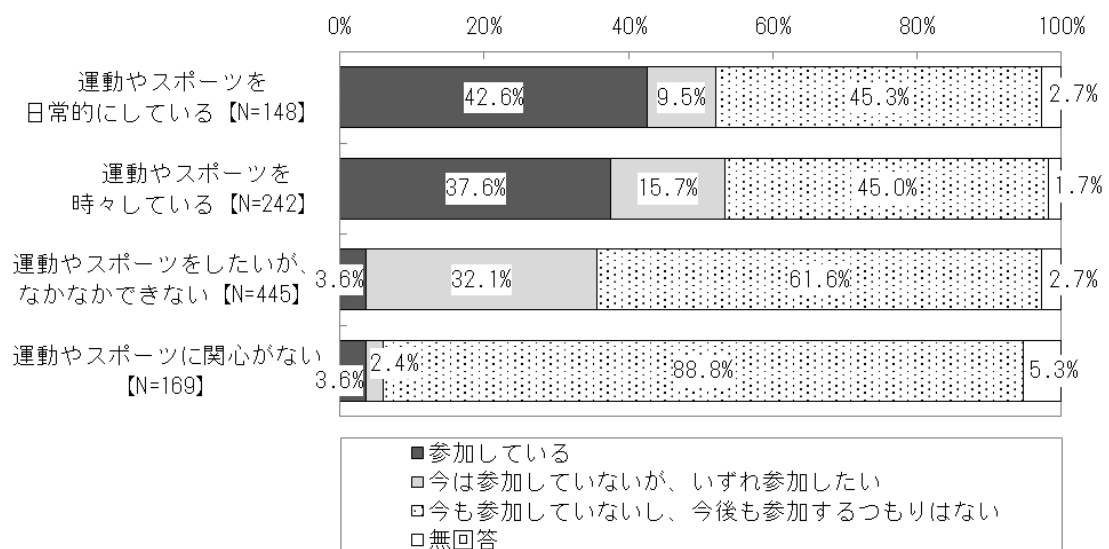
○スポーツクラブへの参加状況は、「今も参加していないし、今後も参加するつもりはない」が59.5%と最も多く、次いで「今は参加していないが、いずれ参加したい」が19.9%、「参加している」が17.4%となっています。

○スポーツクラブなどへの参加状況を、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツを日常的にしている人と時々している人は「参加している」と「今は参加していないが、いずれ参加したい」を合わせると約5割と多くなっています。運動やスポーツをしたいが、なかなかできない人は、「いずれ参加したい」が32.1%で、「今後も参加するつもりはない」が61.6%となっています。

スポーツクラブなどへの参加状況



スポーツクラブへの参加状況／運動やスポーツの取り組み方別

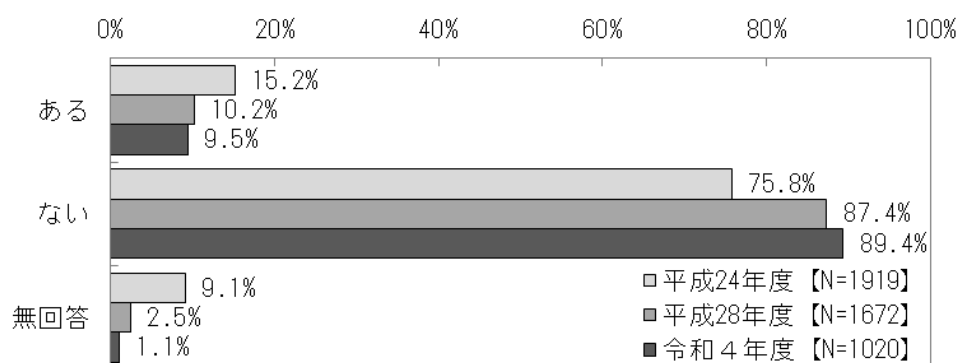


③スポーツに関するボランティア活動について

○スポーツに関するボランティア活動への参加状況は、「ある」が **9.5%**、「ない」が **89.4%**となっています。

○アンケート調査による前回調査との比較では、「ある」が徐々に減少しています。

スポーツに関するボランティア活動への参加状況

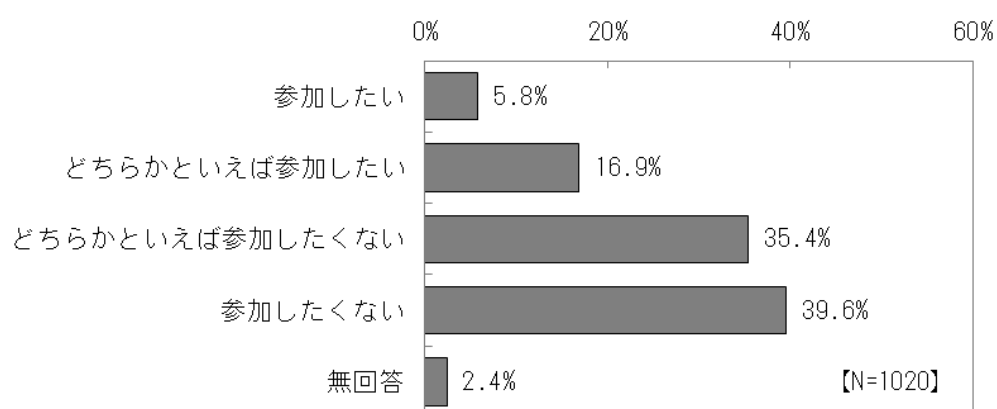


○スポーツに関するボランティア活動への参加意向は、「参加したくない」が **39.6%**と最も多く、次いで「どちらかといえば参加したくない」が **35.4%**、「どちらかといえば参加したい」が **16.9%**、「参加したい」が **5.8%**となっています。「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合（『参加したい』）は、**22.7%**となっています。

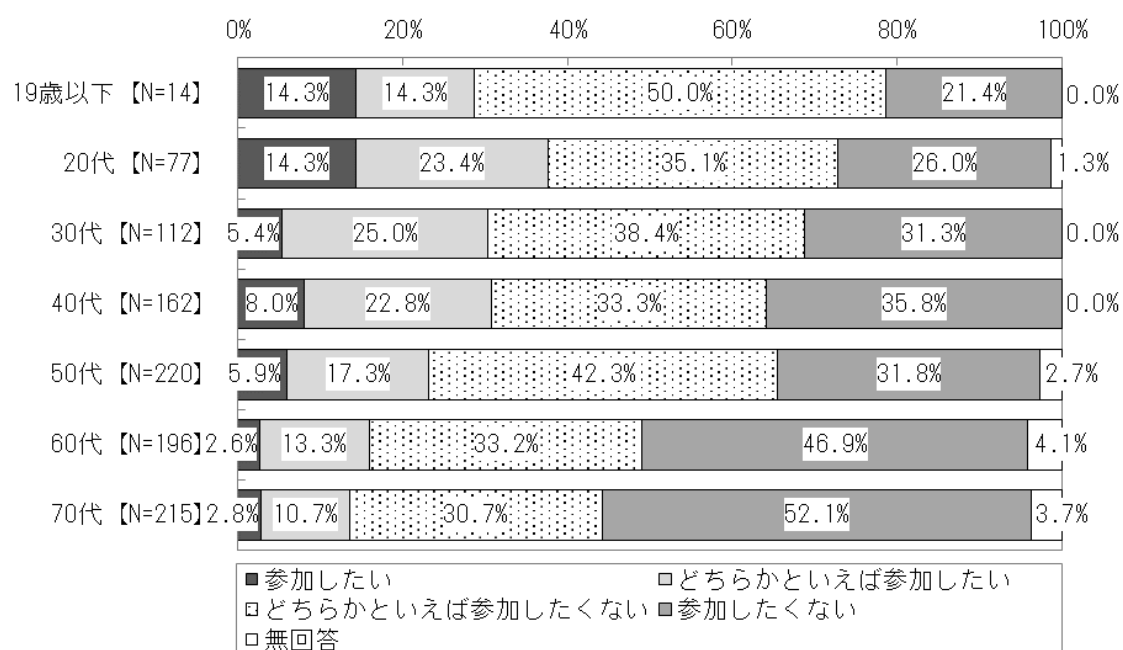
○「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合は、**22.7%**となっています。

○スポーツに関するボランティア活動への参加意向を、年代別にみると、「参加したい」は、おおむね年代が低いほど多いが、多い20代でも「参加したい」「どちらかといえば参加したい」合わせて **37.7%**となっています。

スポーツに関するボランティア活動への参加意向



スポーツに関するボランティア活動への参加意向/年代別

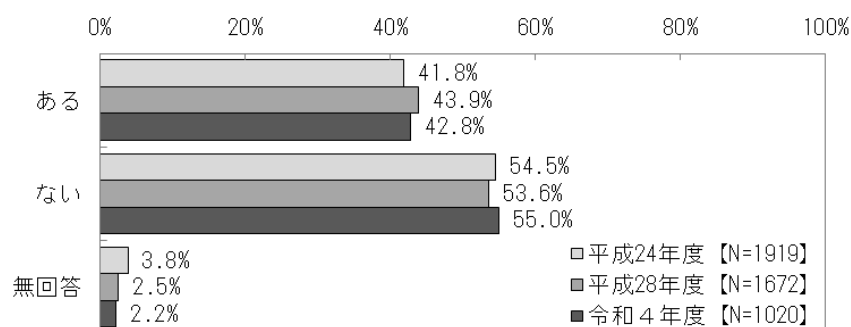


④京丹後市のスポーツ施策について

○京丹後市のスポーツ施設について利用経験の有無を聞いたところ、「ある」が **42.8%** で、「ない」が **55.0%** となっています。

●前回調査と比較すると、「ある」は**微減**となっています。

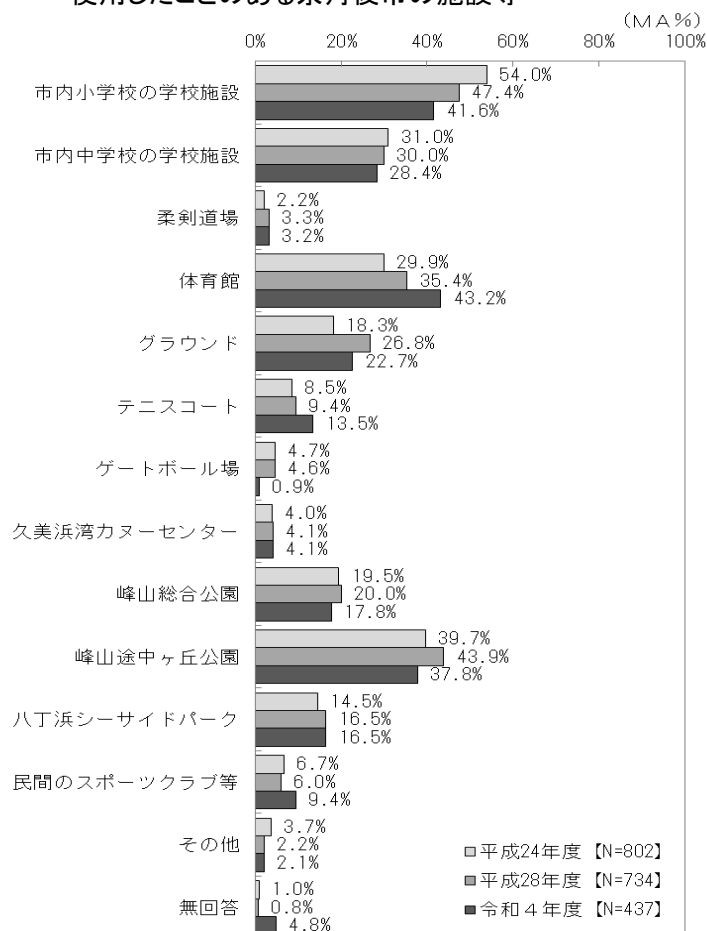
京丹後市のスポーツ施設の利用の有無



○使用したことのある京丹後市の施設等は、「体育館」が **43.2%** と最も多く、次いで「市内小学校の学校施設」が **41.6%**、「峰山途中ヶ丘公園」が **37.8%** となっています。

●前回調査と比較すると、主に「市内小学校の学校施設」、「市内中学校の学校施設」が減少し、「体育館」「テニスコート」「民間のスポーツクラブ等」が増加しています。

使用したことのある京丹後市の施設等



○京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況は、「知らない」が41.0%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことがない」が38.8%、次いで、「参加したことがある」が19.2%となっています。

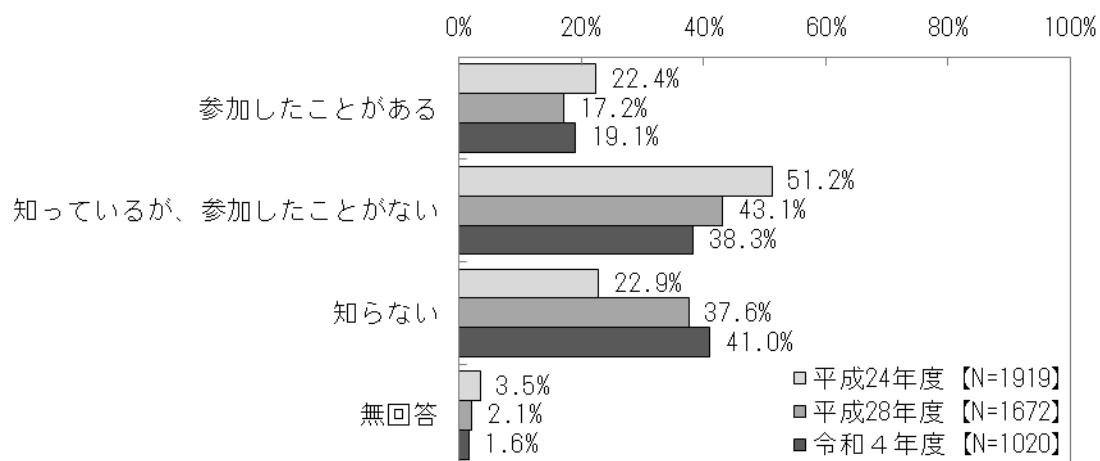
○年代別にみると、「参加したことがある」は20代が26.0%と最も多く、70代では10.2%となっています。

「知らない」は年代が低いほど多くなっています。

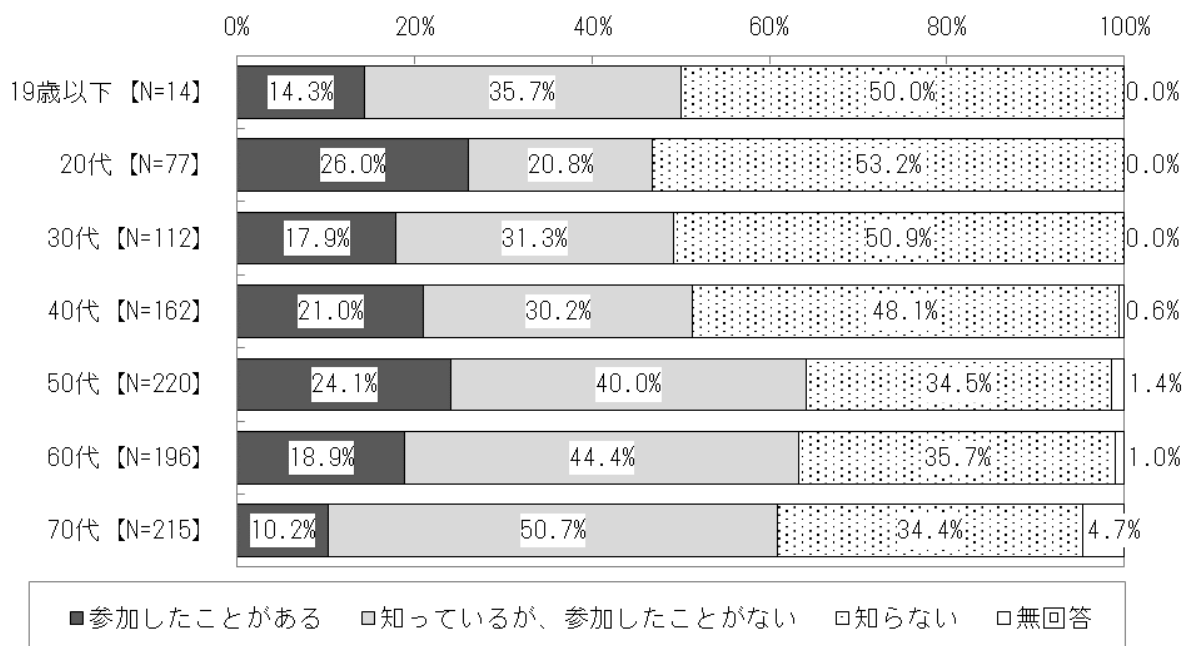
○居住地域別にみると、「参加したことがある」は峰山町が最も多くなっています。

●前回調査と比較すると「知っているが、参加したことがない」が減少し、「知らない」が大きく増加しています。

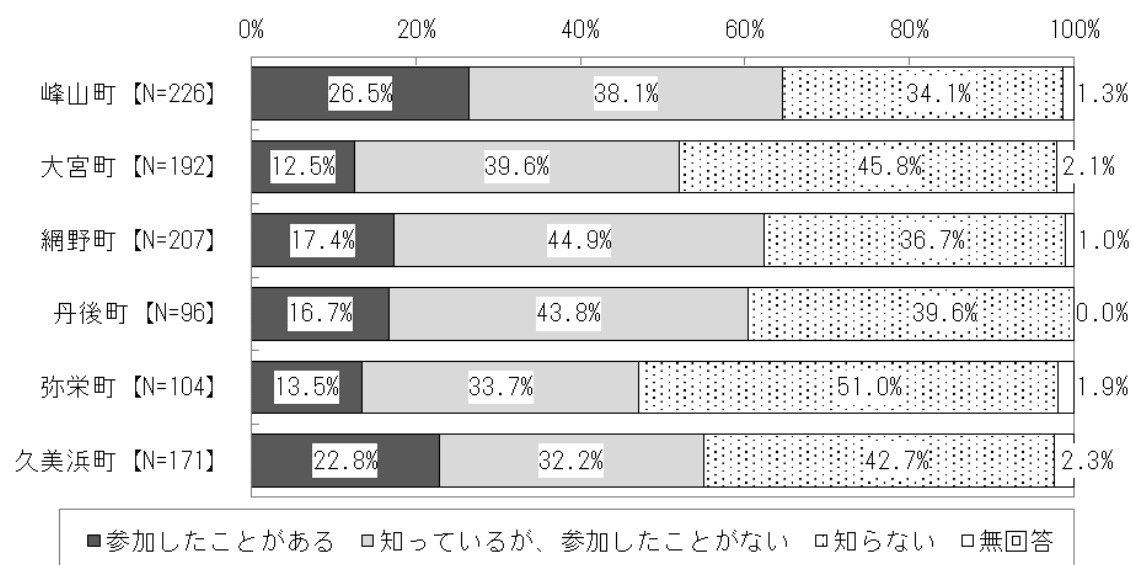
京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況



京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況/年代別



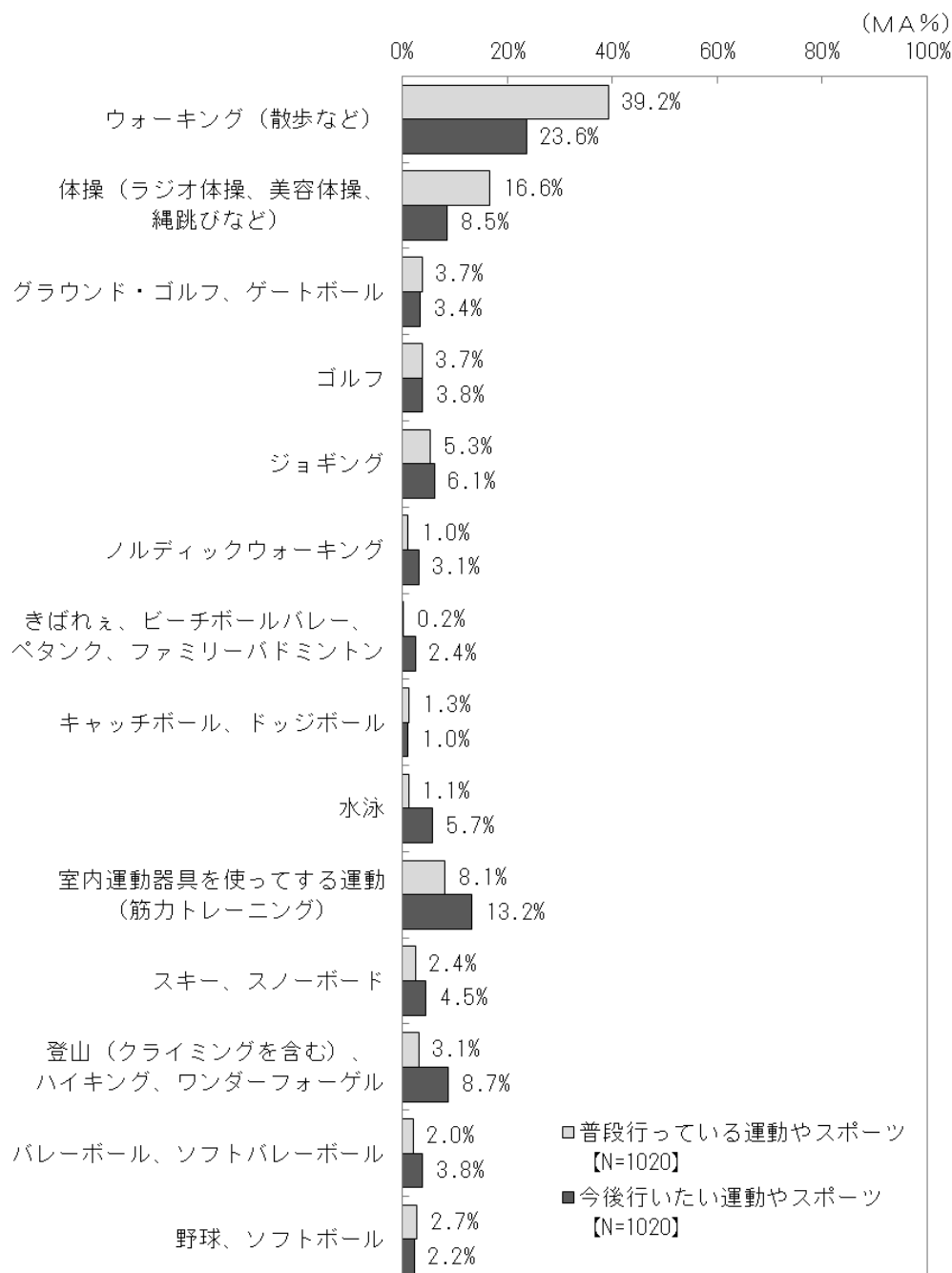
京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況/居住地域別

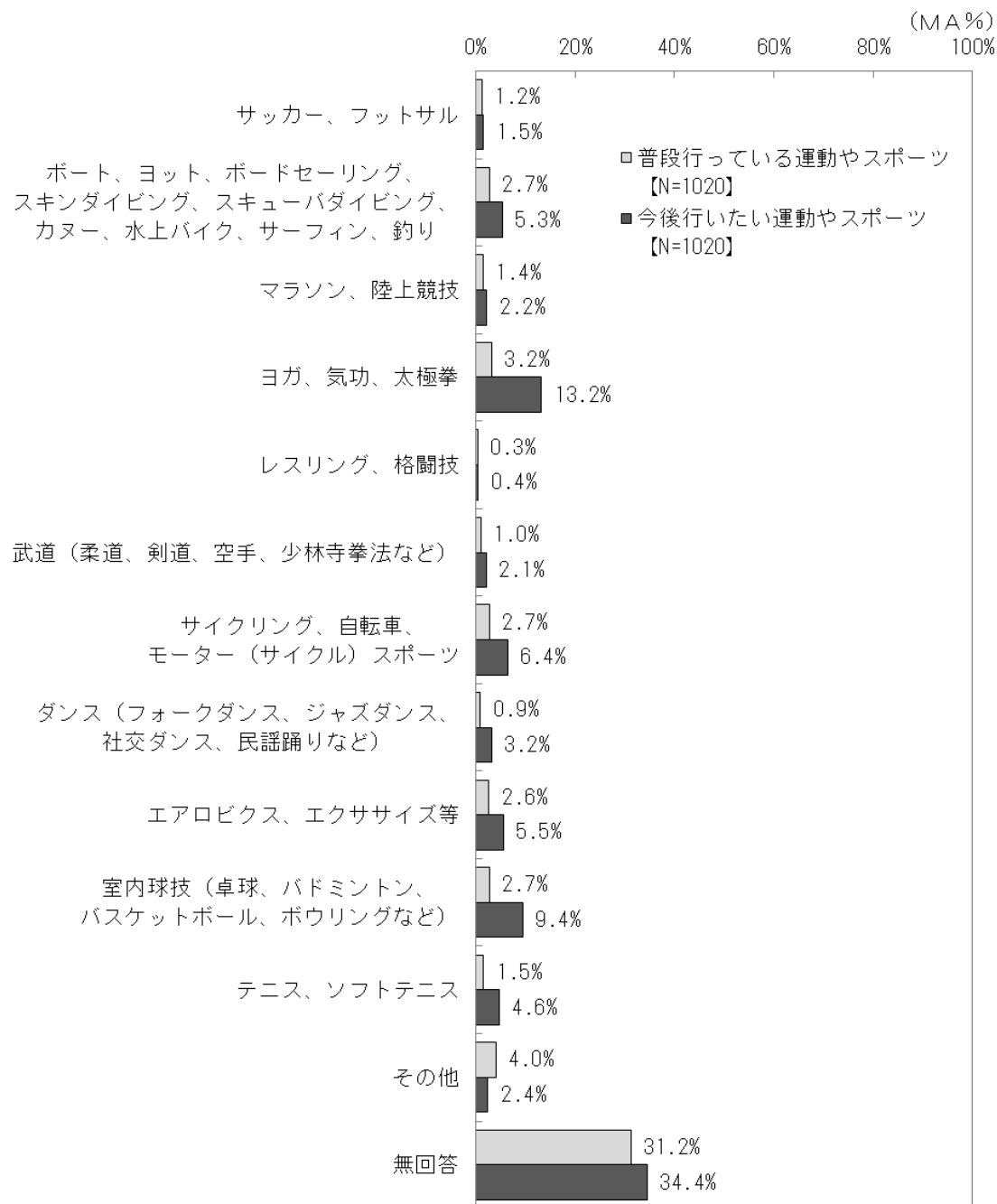


○この1年間で行った運動やスポーツは、「ウォーキング」が 39.2%と最も多く、次いで「体操」が 16.6%、「室内運動器具を使ってする運動(筋力トレーニング)」が 8.1%などとなっています。

○今後行いたい運動やスポーツは、「ウォーキング」が 23.6%と最も多く、次いで「ヨガ、気功、太極拳」と「室内運動器具を使ってする運動」が 13.2%などとなっています。

この1年間で行った運動やスポーツおよび今後行いたい運動やスポーツ



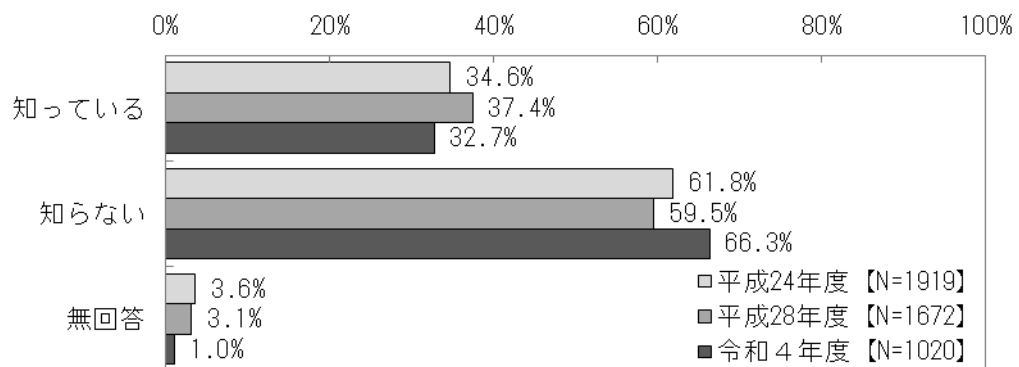


○京丹後市のスポーツ推進委員の認知度については、「知っている」が **32.7%**、「知らない」が **66.3%**となっています。

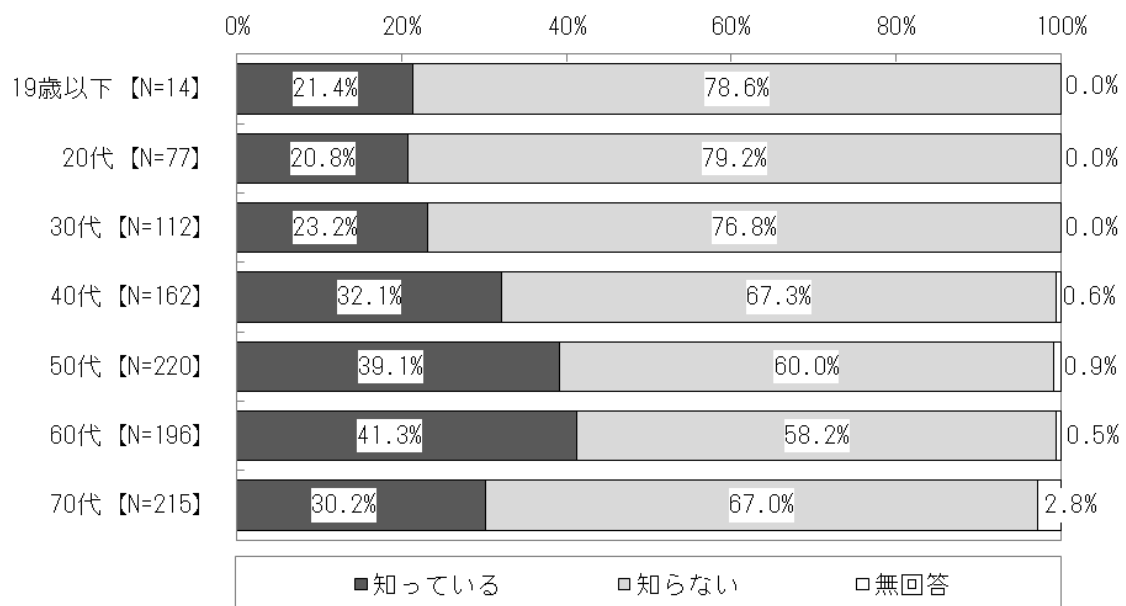
○年代別にみると、**30代以下は「知らない」が7割を超えています。**

○前回調査と比較すると「知っている」が減少し、「知らない」が増加しています。

スポーツ推進委員の認知度



スポーツ推進委員の認知度／年代別

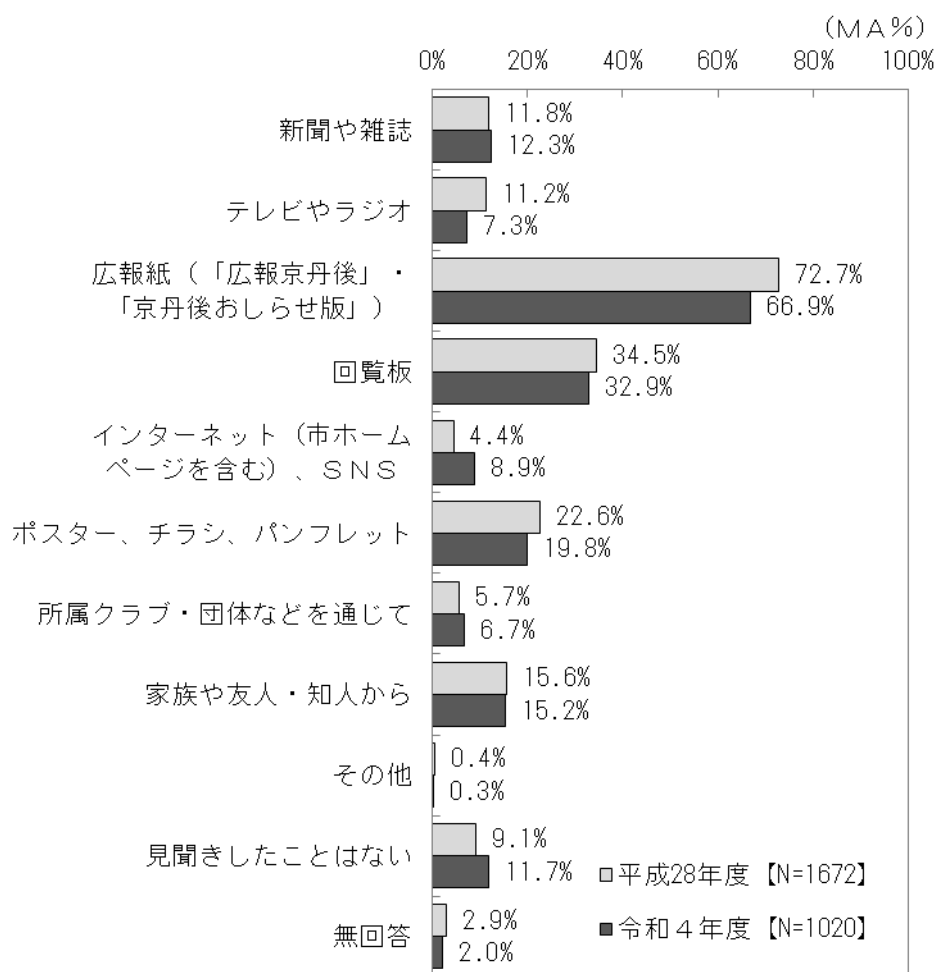


⑤スポーツに関する情報について

○京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体は、「広報紙」が **66.9%**と最も多く、他の項目を大きく上回っています。次いで「回覧板」が **32.9%**、「ポスター、チラシ、パンフレット」が **19.8%** などとなっています。

●前回調査では低かった「インターネット(市ホームページを含む)、SNS^{*}」が2倍程度の 8.9%と増加しています。

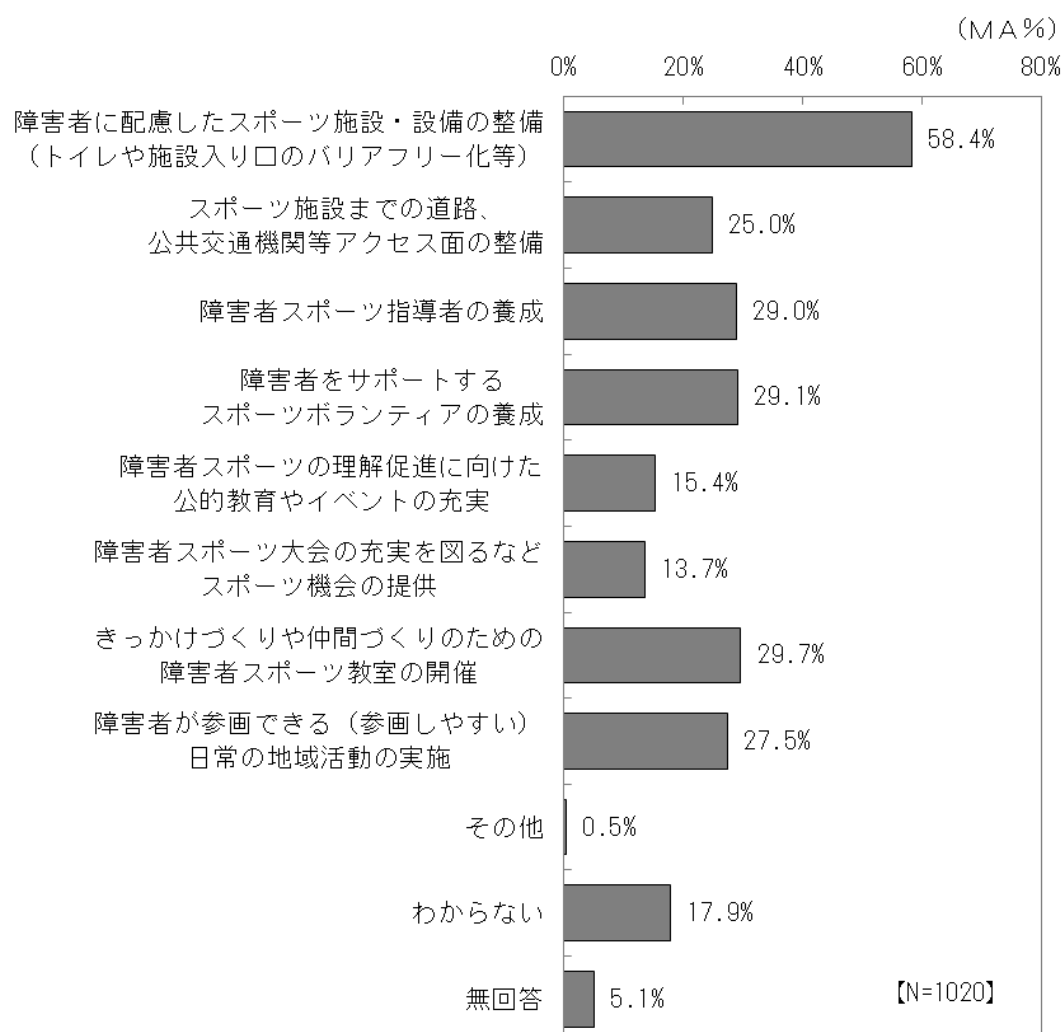
京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体



⑥障害者スポーツの振興について

○障害者スポーツの振興のために必要と思われることは、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備」が 58.4%と最も多く、次いで「きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催」が 29.7%、「障害者をサポートするスポーツボランティアの養成」が 29.1%、「障害者スポーツ指導者の養成」が 29.0%などとなっています。

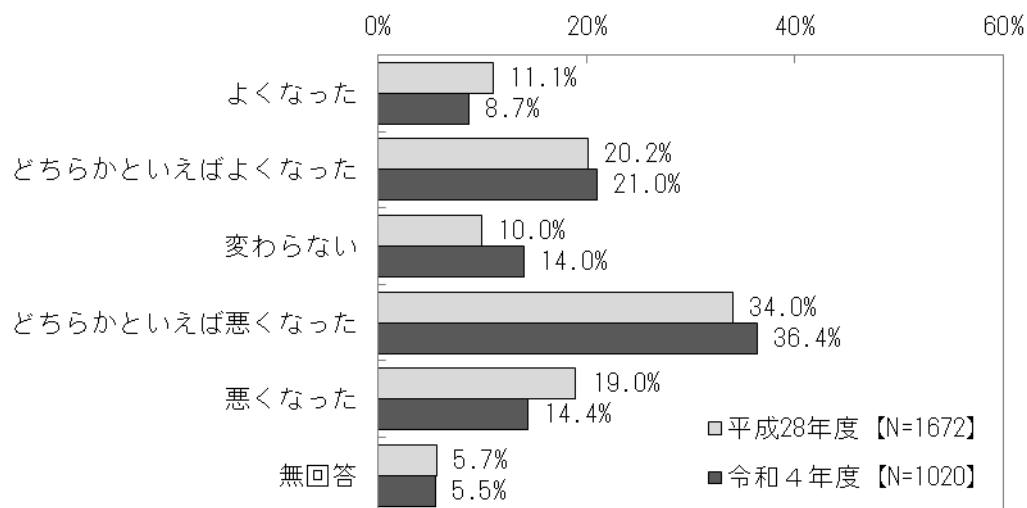
障害者スポーツの振興のために、必要と思われること



⑦現在の子どもを取り巻く環境について

○親世代の子ども時代と比較した現在の子どものスポーツ環境については、「どちらかといえば悪くなった」が**36.4%**と最も多く、次いで「どちらかといえばよかった」が**21.0%**、「悪くなった」が**14.4%**などとなっています。

親世代の子ども時代と比較した現在の子どものスポーツ等の環境



用語解説

【ア行】

アクティビティ	自分の行為全般、スポーツ活動など。 日本では特にリゾート地や旅行先での遊びという意味でよく使われます。
新たな地域コミュニティ	広域で連携して若者や女性も活躍できる新たな地域コミュニティを立ち上げ、地域課題の解決に取り組みながら元気で楽しく住みやすい地域づくりを目指す取組。

【カ行】

家庭教育支援チーム	身近な地域で、子育てや家庭教育に関する相談に乗ったり、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会、地域の情報などを提供する。行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育をサポートする。
共生社会	これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。
グラウンド・ゴルフ	ゴルフを基本に、日本で考案されたニュースポーツ [*] の一種。学校などのグラウンドでも気軽に行えるということをイメージして名づけられた。必要とするプレイ時間は、標準的なコースで8ホール 30分程度。

【サ行】

指定管理	地方公共団体が住民の福祉を増進する目的で設置した公の施設の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人・団体に行わせる制度。
ジオ・スポーツ	ジオパークの自然の魅力を活用したスポーツ活動。
スポーツ観光	スポーツを資源とした総合的な観光のまちづくりの取組。
スポーツ基本法	平成23年8月に改正し、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるもの。
スポーツ基本計画	スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置づけられるもの。

スポーツツーリズム	プロスポーツなどの観戦やマラソン、ウォーキングなどのスポーツイベントへの参加を目的とし、開催地周辺の観光とを組み合わせた旅行スタイルをいう。
スポーツ少年団	スポーツを通じて、青少年の健全育成を目的とする社会教育団体。スポーツ少年団と言った場合、社会体育として位置づけられる団体（クラブチーム）であり、クラブ活動のような学校の団体ではない。
スポーツ推進委員	スポーツ基本法第32条に基づき、市町村教育委員会が委嘱する委員。任期2年の非常勤公務員。
生涯スポーツ	生涯スポーツ（lifelong sport）とは、その生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツをいう。
新体力テスト	健康で毎日元気に生活したり、走る、飛ぶ、投げるなどの体を力強く動かす能力を調べるもの。
総合型地域スポーツクラブ	人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブ。「多世代」「多種目」「多志向」という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される。
SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）	インターネット上の交流を通して社会的ネットワーク（ソーシャル・ネットワーク）を構築するサービスのことである。

【タ行】

地区サロン	地区で高齢者や障がい児・者、子育て中の方が、生きがい活動と元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人同士のつながりを深める自主活動の場。
DMO	DMO（Destination Management Organization：デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション）とは、観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。
海の京都DMO	京都府及び北部7市町は、「海の京都観光圏」が強固に連携し、地域主導によるブランド観光圏を形成するため設立した（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社のこと。

【ナ行】

ニュースポーツ	20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツ群。一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動をいう。
---------	--

ノルディックウォーキング	北欧のクロスカントリー選手の夏場のトレーニングとして始まり、近年は一般向けの健康づくりとして国内でも広まりつつある。ポールと両足の4点で支えるため足腰の負担が和らぐ。両腕を大きく動かすため消費カロリーは普通に歩くよりも約20%高い。
--------------	--

【ハ行】

PDCAサイクル	管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するもの。
バリアフリー	障害者や高齢者が社会生活をする上で、障壁（バリア）となるものを除去するという意味。
ヘルスツーリズム	医学的な根拠に基づく健康回復や維持、増進につながる観光のこと。旅を通して健康プログラムなどにより、健康づくりへのきっかけやより効果的な健康法を知ることにつながる。
ホストタウン	2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する世界各国が日本の各都市で事前合宿が行えるように協力をするため、事前合宿の誘致や参加国・地域との交流事業などを担う自治体を「ホストタウン」として登録し、地方創生の推進を目指す政府の取組。

【マ行】

メンタルトレーニング	精神の安定・集中を目的とする自己管理トレーニング。
------------	---------------------------

【ラ行】

ライフステージ	人間の一生を少年期・青年期・壮年期・老年期などと分けた、それぞれの段階のことをいう。
---------	--

【ワ行】

ワールドマスタースゲームズ2027 関西	国際マスタースゲームズ協会（IMGA）が4年ごとに主催する、原則30歳以上の方なら参加登録さえすれば出場できる生涯スポーツ [※] の国際総合競技大会のこと。2021年は、アジア初の本大会が関西全域で開催予定。
----------------------	--

第 2 次京丹後市スポーツ推進計画

市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち
＜令和5年度改訂版＞

発 行：京丹後市教育委員会事務局
生涯学習課・スポーツ推進室
住 所：〒629-2501
京都府京丹後市大宮町口大野 226
T E L：0772-69-0630
F A X：0772-68-9061
発行年月：令和6年3月
